

一 般 科 目

授業科目名 (ナンバリングコード)	総合英語 I (111A1-2200)		授業形態	演習	授業科目区分	一般科目 (コミュニケーション科目)				
担当教員名	吉重 美紀				補助担当者名	TA 1名 (予定)				
単位数	2 単位		履修年次	1 年次		受け入れ人数	25名			
授業の概要	アスリートや指導者として海外でも活躍するためには、英語の基礎力は不可欠である。本授業では、基礎レベルの大学生を特に念頭に置いて作成された教材を使って、英語のリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの力を伸ばすことを目指す。教材で扱われるトピックは、大学生が日常的によく出会うもので、イラストや写真も使用され日本語のサポートもあるので、くじけることなく取り組めるようになっている。無料でダウンロードできる音声ファイルも活用し、CheckLinkというデジタル環境を使って予習をしてもらう。これにより、学生が将来どのような場面においても使える基礎的英語力が身につくことが期待される。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	英語の基本的文法事項について理解し、それを応用できるようになる。		○	○		○		30
		■情意的領域	毎回の活動に主体的に取り組む。異なる国々の文化や習慣に関心を持つ。	○		○				30
■技能的領域	英語で話し、聞き、書き、読めるよう基本的4技能を身につける。また英語の発音やリスニングに慣れる。	○	○			○		40		
成績評価の基準	CheckLink課題、英語の発表、定期試験（中間、期末）の得点を合計し60点以上を合格。学生の専門競技の紹介など英語によるプレゼンテーション(ペア／グループ)を実施の予定。									
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：『English Day! やさしい英語でまると1日過ごしてみる』 (Robert Hickling, 金星堂、2023、1900円+税) 参考書：『アスリートたちの英語トレーニング術』（岡田圭子他著、岩波ジュニア文庫、2011） 『＜意味順＞英作文のすすめ』（田地野彰著、岩波ジュニア文庫、2011）									
履修条件・ 関連科目	4月当初の英語プレイスメントテスト結果でこのクラスに指定された学生25名のみ。25名以上の受け入れは不可。国際交流センターが提示する履修条件をよく読んで、履修ください。		備考(教員メッセージ含む)		タブレット必携。英語の発音、リスニングに慣れるよう自分でも音声ファイルを活用し勉強しましょう。CheckLinkを使って課題を出すため、教科書は必ず購入ください（教科書固有番号で学習者登録が必要）。					
オフィス・アワー	木曜日：昼休み、午後4時～5時 図書館2階吉重教員室									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)					
1	吉重 美紀	事前アンケート、コースおよび課題の説明			1課 p.12～15 予習、音声ファイル（1時間）					
2	〃	Unit 1 Getting Up 現在時制（be動詞）			2課 p.18～21 予習、音声ファイル（1時間）					
3	〃	Unit 2 Breakfast Time 現在時制（一般動詞）			3課 p.24～27 予習(CheckLink),音声ファイル（1時間）					
4	〃	Unit 3 Getting Ready for School 名詞			4課 p.30～33 予習、音声ファイル（1時間）					
5	〃	Unit 4 First Class of the Day 代名詞			5課 p.36～39 予習、音声ファイル（1時間）					
6	〃	Unit 5 Lunchtime 前置詞			6課 p.42～45 予習、音声ファイル（1時間）					
7	〃	Unit 6 Shopping WH疑問文			U.1～U.6の復習、配布プリント（2時間）					
8	〃	前半の総復習、中間試験			7課 p.48～51 予習、音声ファイル（1時間）					
9	〃	Unit 7 Getting Lost 過去時制（be動詞と一般動詞）			8課 p.54～57 予習、音声ファイル（1時間）					
10	〃	Unit 8 In the Museum 現在進行形と過去進行形			9課 p.60～63 予習、音声ファイル（1時間）					
11	〃	Unit 9 At a Cafe 未来表現（willとbe going to）			10課 p.66～70 予習、音声ファイル（1時間）					
12	〃	Unit 10 Part-Time Job 現在完了形			11課 p.72～76 予習、音声ファイル（1時間）					
13	〃	Unit 11 After Work 助動詞			12課 p.78～82 予習、音声ファイル（1時間）					
14	〃	Unit 12 Housework 不定詞と動名詞、学期末試験について			14課 p.90～94 予習、音声ファイル（1時間）					
15	〃	Unit 14 The Weekend 接続詞			総復習（2時間）					
16	〃	学期末試験（筆記＋リスニング、中間試験含む）								

授業科目名 (ナンバリングコード)	総合英語Ⅰ（再履修） (111A1-2201)		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (コミュニケーション科目)				
担当教員名	吉重 美紀					補助担当者名		TA				
単位数	2 単位		履修年次	1～4年次		受け入れ人数		25名程度				
授業の概要	球技・陸上競技・格闘技などよく知られたスポーツの歴史や特徴、有名選手、あるいは他のスポーツとの関係等について、いろいろな角度から、やさしい英語を通して学ぶ。スポーツの知識を深めながら、英語力の向上を目指す。											
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法								
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %			
			授業	テスト	レポート	発表						
			○		○	○						30
			○		○							30
■認知的領域	英文の内容を理解し、各話題に対し自分の考えを持ち英語で表現できる。	○			○	○			40			
■情意的領域	14の競技についての英文を読みながら、各競技や選手等に関心を持つ。	○			○				30			
■技能的領域	語彙、文法、表現、構文など英文の読解力を高めるとともに、発音や読み、リスニング力も向上させる。	○				○	○		40			
成績評価の基準	毎回の発表は学生相互評価。レポートは2回提出。中間試験／学期末試験を行ない、総合的に評価して60点以上の者を合格とする。											
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：『Enjoy English through World Sports 英語で楽しむ世界のスポーツ』 (染矢正一、Fred Ferrasci, Paul Murray著, 朝日出版、2019、1500円+税) 参考書：『アスリートたちの英語トレーニング術』 (岡田圭子・野村隆宏著、岩波ジュニア文庫、2011、820円+税)											
履修条件・ 関連科目	前年度までに指定の科目を履修できなかった再履修者対象 (国際交流センターが提示する履修条件をよく読むこと)。 受講者多数の場合は、上級生を優先し、他の学生は他の 年度・学期での受講をお願いするかもしれません。			備考(教員メッ セージ含む)		辞書とタブレット必携。発表の準備として、必ず事前打ち 合わせに参加(オンライン等)すること。						
オフィス・アワー	木曜日：昼休み、午後4時～5時 図書館2階吉重教員室											
授業計画												
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)						
1	吉重 美紀	Introduction to the course、presentation について				1課 p.2～5を予習する（1時間）						
2	〃	Unit 1 Baseball				2課 p.6～9を予習する（1時間）、発表指導						
3	〃	Unit 2 Football				3課 p.10～13を予習する（1時間）、発表指導						
4	〃	Unit 3 Figure Skating				4課 p.14～17を予習する（1時間）、発表指導						
5	〃	Unit 4 Sumo				5課 p.18～21を予習する（1時間）、発表指導						
6	〃	Unit 5 Basketball				1課～5課レポート提出、6課 p.22～25を予習する（2.5時間）						
7	〃	Unit 6 Rugby				7課 p.26～29を予習する（1時間）、発表指導						
8	〃	Unit 7 The Marathon				8課 p.30～33を予習する（1時間）、発表指導						
9	〃	Unit 8 Boxing				9課 p.34～37を予習する（1時間）、発表指導						
10	〃	Unit 9 Tennis				テストに備え、総復習						
11	〃	中間試験				10課 p.38～41を予習する（1時間）、発表指導						
12	〃	Unit 10 Volleyball				11課 p.42～45を予習する（1時間）、発表指導						
13	〃	Unit 11 Judo				12課 p.46～49を予習する（1時間）、発表指導						
14	〃	Unit 12 Swimming				14課 p.54～57を予習する（1時間）、発表指導						
15	〃	Unit 14 Ekiden				学期末試験受験の準備をする（4時間）						
16	〃	学期末試験(口頭発表)										

授業科目名 (ナンバリングコード)	総合英語Ⅱ (111A2-2200)		授業形態	演習	授業科目区分	一般科目 (コミュニケーション科目)				
担当教員名	吉重 美紀				補助担当者名	TA1名(予定)				
単位数	2 単位		履修年次	1年次		受け入れ人数 25名				
授業の概要	アスリートや指導者として海外で活躍するためには、英語の基礎力は不可欠である。本授業では、基本語彙をマスターし、基本的な文法事項を確認し、やさしい英語で書かれた150~180語程度の英文を読むことで、英語によるコミュニケーション力を伸ばすことをめざす。 Dialogueの話し言葉とReading Passageの書き言葉の違いを比較しつつ、英文を読む楽しさも味わってもらいたい。これにより、学生が将来どのような場面においても使える基礎的英語力が身につくことが期待される。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理 (コミュニケーション能力、一般教養)	授業期間				定期 試験	割合 %		
			授業	テスト	レポート	発表				
			■認知的領域	英語の基本的文法事項について理解し、それを応用できるようになる。		○	○		○	30
			■情意的領域	毎回の課題に主体的に取り組む。異なる国々の文化や習慣に関心を持つ。	○		○			30
■技能的領域	英語で話し、聞き、書き、読めるよう基本的4技能を身につける。また英語の発音や読みに慣れる。	○	○			○	40			
成績評価の基準	毎回の予習、レポート、英語の発表、定期試験(中間、期末)等の評価を合計し60点以上を合格。専門競技等に関する英語による発表を実施の予定。									
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：『Good Grammar, Better Communication やさしく学ぶコミュニケーション英文法』 (Joan McConnell, 山内 圭著, 成美堂、2022、2000円+税) 参考書：『アスリートたちの英語トレーニング術』 (岡田圭子・野村隆宏著,岩波ジュニア文庫, 2011) 『＜意味順＞英作文のすすめ』(田地野彰著, 岩波ジュニア文庫, 2011)									
履修条件・ 関連科目	テスト結果でこのクラスに指定された1年次生25名。前期、後期に開講されるが両学期とも25名以上の受け入れは不可(後期は前期に「総合英語Ⅰ」を履修した学生対象)。国際交流センターが提示する履修条件をよく読んで履修ください。		備考(教員メッセージ含む)		辞書、タブレット必携。毎週予習として課題をしてもらうため、教科書を必ず購入ください。					
オフィス・アワー	木曜日：昼休み、午後4時～5時 図書館2階吉重教員室									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)					
1	吉重 美紀	事前アンケート、コースおよび課題の説明			第1課 予習(1時間)					
2	〃	Chapter 1 Laughter Is a Miracle Medicine 現在形			第2課 予習(1時間)					
3	〃	Chap. 2 Florence Nightingale: Pioneer of Modern Nursing 過去形			第3課 予習(1時間)					
4	〃	Chap. 3 Pearls of Wisdom 名詞・代名詞			第4課 予習(1時間)					
5	〃	Chap. 4 Love Is Powerful 接続詞・前置詞			第6課 予習(1時間)					
6	〃	Chap. 6 The Key to Success 助動詞			第7課 予習(1時間)					
7	〃	Chap. 7 The Power of Positive Thinking 動名詞			中間試験に備えU.1～U.7の復習					
8	〃	前半の総復習、中間試験			第8課 予習(1時間)					
9	〃	Chap. 8 A Dog Is Man's Best Friend 不定詞			第9課 予習(1時間)					
10	〃	Chap. 9 Mushrooms Are a Miracle Food! 比較			第10課 予習(1時間)					
11	〃	Chap. 10 Protecting Man's Best Friend 分詞			第11課 予習(1時間)					
12	〃	Chap. 11 "Rice" from the Ocean 未来形			第12課 予習(1時間)					
13	〃	Chap. 12 Ocean-aged Wines 受動態			第13課 予習(1時間)					
14	〃	Chap. 13 Angry People Aren't Happy People 完了形、学期末試験について			第14課 予習(1時間)					
15	〃	Chap. 14 Fast Fashion Is a "Mixed" Blessing 関係詞、学期末アンケート及び授業の振り返り			学期末試験に備え総復習(2時間)					
16	〃	学期末試験(筆記+リスニング)								

授業科目名 (ナンバリングコード)	総合英語Ⅱ（再履修） (111A2-2201)		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (コミュニケーション科目)		
担当教員名	吉重 美紀					補助担当者名				
単位数	2 単位		履修年次	1～4 年次		受け入れ人数		15		
授業の概要	やさしい英語で身近な話題であるスポーツとアスリートについて学ぶ一方、英文法の基礎の学び直しをし、英文読解やリスニングに慣れるようにする。テキストのハーフ・タイムやCoffee Breakでは、スポーツ関連の英語の豆知識や本文で扱ったスポーツやアスリート等に関するエピソードについてもふれる。身近なスポーツという話題を通して、学生の英語への関心と英語の読みを含めた基礎力アップをめざす。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D P で 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理 (コミュニケーション能力)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	英文の内容を理解し、各話題に対し自分の考えを持ち英語で表現できる。	○		○	○	○		40
		■情意的領域	5つのスポーツ競技(団体含む)、9人のアスリート、スポーツ界での男女平等についての英文を読みながら、それぞれのスポーツや選手等に関心を持つ。	○		○				30
■技能的領域	語彙力、文法、表現、構文を含む英文の読解力を高めるとともに、リスニング力も向上させる。	○			○	○		30		
成績評価の基準	英語による発表、課題・レポート提出、さらに学期末試験を行ない、総合的に評価して60点以上の者を合格とする。									
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：『Attention All Sports Fans!』 (Mark Thompson, 谷岡 敏博著, 英宝社、2021、2000円+税) 参考書：『英単語学習の科学』（中田達也著, 研究者、2019年）									
履修条件・ 関連科目	前年度までに指定の科目を履修できなかった再履修者対象。 国際交流センターが提示する履修条件をよく読むこと。 受講者多数の場合は上級生を優先し、他の学生は他の年度・学期での受講をお願いするかもしれません。		備考(教員メッセージ含む)		教科書は必ず購入してください。辞書、タブレット必携。 発表準備として、必ず事前打ち合わせに参加すること。					
オフィス・アワー	木曜日：昼休み、午後4時～5時、図書館2階吉重教員室									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	吉重 美紀	Introduction to the course、presentation について				発表指導（1 時間）				
2	〃	Unit 1 Major League Baseball(be動詞)				発表指導（1 時間）				
3	〃	Unit 2 Shouhei Ohtani-"It's Sho Time!"（現在形）				発表指導（1 時間）				
4	〃	Unit 3 The NBA（過去形&未来形）				発表指導（1 時間）				
5	〃	Unit 4 Rui's Road to the NBA (助動詞)				発表指導（1 時間）				
6	〃	Unit 5 Football---The Most Popular Sport in the USA (進行形)				発表指導（1 時間）				
7	〃	Unit 6 Super Bowl(受動態)				発表指導（1 時間）				
8	〃	Unit 7 Wimbledon (現在完了形)				発表指導（1 時間）				
9	〃	Unit 8 Naomi Osaka – Love (不定詞)				発表指導（1 時間）				
10	〃	Unit 10 Hinako Shibuno – Smiling Cinderella (比較)				発表指導（1 時間）				
11	〃	Unit 11 Carl Lewis-Sportsman of the Century (関係代名詞)				発表指導（1 時間）				
12	〃	Unit 12 Sani Brown Loves Sunny Florida (形容詞と副詞)				発表指導（1 時間）				
13	〃	Unit 13 Yuzuru Hanyu-Prince on Ice (分詞と動名詞)				発表指導（1 時間）				
14	〃	Unit 14 King Kazu – J. League Pioneer (前置詞)				発表指導（1 時間）				
15	〃	Unit 15 Gender Inequality in Sports (itの用法と否定)				発表指導（1 時間）				
16	〃	学期末試験(口頭発表)								

授業科目名 (ナンバリングコード)	総合英語Ⅲ（コミュニケーションのための英文法） (111A3-2201)		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (コミュニケーション科目)		
担当教員名	田嶋 靖子					補助担当者名				
単位数	2 単位		履修年次	1～4年次		受け入れ人数		35名程度		
授業の概要	従来の読解・翻訳中心型の英語から、昨今はコミュニケーションで活かす事のできる英語力が求められています。これまで学んできた英文法の知識を、日常の場面を想定したフレーズに落とし込み反復的に練習することで、コミュニケーションをとる際の基礎的な英語文法・言い回しの定着を目指します。また、コミュニケーションをとる上で不可欠な、グローバルな視点を養う機会を提供します。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D P で 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	基本的な英語の構造を理解し、それを日常の英語コミュニケーションに用いることができるようになる。	○	○			○		60
		■情意的領域	課題や自分で設定した自主学習目標に主体的に取り組み、意欲的に英語によるコミュニケーションに参加することができる。	○		○				30
■技能的領域	機会に応じた時制や言い回しを用いて、間違いを恐れず英語コミュニケーションをすることができる。	○	○		○			10		
成績評価の基準	授業での積極的な言語活動への参加、課題・小テストの提出状況を総合的に評価し、60点以上を合格とする。学期末試験のスコアを10％分として評価に用いる。									
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：Say It Now! Grammar for Communication 話す・伝える英文法 高田智子・Diane H Nagatomo著金星堂 @1,800円(税別) 補助教材 適宜授業の中で紹介し、必要に応じてこちらで準備し配布します。 参考書 総合英語 Forest(フォレスト), 奥タカユキ他著 (桐原書店, 1999) ※高校までに使用した総合的な内容の文法書が手元にあれば、そちらで十分です。 英会話 話を組み立てるパワーフレーズ 講義編, 大西泰斗 ポール・マクベイ著, NHK出版, 2021 英会話 話を組み立てるパワーフレーズ トレーニング編, 大西泰斗 ポール・マクベイ著, NHK出版, 2021									
履修条件・ 関連科目	履修条件：総合英語Ⅱの単位を修得していること、もしくは、プレースメントテストの結果が、TOEICスコア換算で、300以下でかつ、下位50番目より上位の結果であること。 関連科目：総合英語Ⅱ、総合英語Ⅳ		備考(教員メッセージ含む)		基礎的な文法をしっかりと復習・学習し、英語でのコミュニケーションを楽しみましょう。					
オフィス・アワー	月曜日10：00～10：30 国際交流センター2階 非常勤講師控室（国重教授研究室隣です） 英語の勉強方法に関する相談や質問等を受け付けます。メールアドレスは1回目の授業内でお知らせします。									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	田嶋 靖子	Introduction 授業概要・課題・評価についての説明。 英語の基礎を見直そう！ 5文型的重要性				英語学習計画について考えてみよう 指定したStreamから気づきを得よう				
2	〃	Unit1 I Commute by Train. 【現在時制・過去時制】				次週のUnit予習：単語・文法確認（40分） +自主学習（20分）				
3	〃	Unit2 What Are You Going To Do This Weekend? 【未来表現】				次週のUnit予習：単語・文法確認（40分） +自主学習（20分）				
4	〃	Unit3 Have You Ever Volunteered? 【現在完了形】				次週のUnit予習：単語・文法確認（40分） +自主学習（20分）				
5	〃	Unit4 Is There a Bank Near Here? 【There is/are 構文】				次週のUnit予習：単語・文法確認（40分） +自主学習（20分）				
6	〃	Unit5 Could I Join Your Class? 【助動詞①】 Unit6 You Should Apply for the Program. 【助動詞②】				次週のUnit予習：単語・文法確認（40分） +自主学習（20分）				
7	〃	Unit7 What do the Plans Include? 【疑問詞】				次週のUnit予習：単語・文法確認（40分） +自主学習（20分）				
8	〃	Unit8 My New Apartment is Safer than My Old One. 【比較級・最上級】				次週のUnit予習：単語・文法確認（40分） +自主学習（20分）				
9	〃	Unit9 Typing is Easy for Me! 【動名詞】				次週のUnit予習：単語・文法確認（40分） +自主学習（20分）				
10	〃	Unit10 I Have Many Things to Learn. 【to不定詞】				次週のUnit予習：単語・文法確認（40分） +自主学習（20分）				
11	〃	Unit11 If I Travel Abroad, I'll Take a Group Tour. 【because/if節】				次週のUnit予習：単語・文法確認（40分） +自主学習（20分）				
12	〃	Unit12 Osamu Tezuka is Admired by Many People. 【受動態】				次週のUnit予習：単語・文法確認（40分） +自主学習（20分）				
13	〃	Unit13 Here is a Book Showing Various Recipes! 【過去分詞・現在分詞】				次週のUnit予習：単語・文法確認（40分） +自主学習（20分）				

14	〃	Unit14 There is a Candidate who I Want to Support. 【関係代名詞】	次週のU n i t 予習：単語・文法確認（４０分） ＋自主学習（２０分）
15	〃	Unit15 This Semester Finished So Fast ! 【頻度・様子を表す副詞】	次週のU n i t 予習：単語・文法確認（４０分） ＋自主学習（２０分）
16	〃	学期末試験	

授業科目名 (ナンバリングコード)	総合英語Ⅲ（英語多読・多聴） (111A3-2202)		授業形態	演習		授業科目区分	一般科目 (コミュニケーション科目)			
担当教員名	国重 徹					補助担当者名				
単位数	2 単位		履修年次	全学年		受け入れ人数	35名			
授業の概要	アスリートもスポーツ指導者も国際舞台で活躍するためには、英語でコミュニケーションを取るための力を持っていることが必須である。本授業では、コミュニケーションスキルのうち、まずはReading, Listeningの基本的なスキルを習得させることを目的とし、多読・多聴活動を通して、やさしい英文を大量にインプットし、学習者のreadingとlisteningのfluencyを高める。その上で、英語による多話や多書も行い、英語によるアウトプットの力増進へも繋げていく。本授業を通して、本学の教育目標やカリキュラムポリシーにおける「国内はもとより国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力」の涵養が期待される。なお、新型コロナウイルスの感染状況により、対面授業が難しいと判断した場合は、オンラインによる遠隔授業とする。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	英語の基本的な文法事項を理解し、それをコミュニケーションにスムーズに用いることができるようになる。やさしい英文を日本語を介さず英語のまま読んだり聴いたりして理解し、概要をつかめるようになる。また、間違いをおそれず、英語を書いたり、話したりできるようにする。	○	○			○		60
		■情意的領域	課題に主体的に取り組む。授業内外で、自分のレベル、興味関心に合った英語の本を積極的に読んだり、聴いたりしようという姿勢を示し、読んだり、聴いたりした本については、記録用紙に意欲的に記録しようとする。	○	○			○		30
■技能的領域	英語コミュニケーションに必要なスキル（Reading, Listening, Speaking, Writing）及び基本的な英文法を身につける。間違いを恐れず、英語を話したり、書いたりできる。	○	○			○		10		
成績評価の基準	定期試験（新型コロナウイルスの感染状況から対面の試験実施が難しいと判断した場合は、オンラインで行うか、レポート課題にする可能性あり）を実施し、その成績、課題、小レポート、多書・多話などの言語活動への参加、多読・多聴の語数、冊数、記録用紙の提出状況などを総合的に評価し、60点以上を合格とする。									
テキスト、教材 参 考 書	『Skills for Better Reading』、石谷由美子著、南雲堂(1800円＋税) 補助教材：『英語多読・多聴教材』（こちらで全て準備します） 参考書：『どんどん話すための瞬間英作文トレーニング』（森沢洋介著、ベレ出版）									
履修条件・ 関連科目	履修条件：総合英語Ⅱの単位を修得していること、もしくは、プレイスメントテストの結果が、TOEICスコア換算で300以下でかつ、下位50番目より上位の結果であること。 関連科目：総合英語Ⅱ、総合英語Ⅳ		備考(教員メッセージ含む)		毎回辞書を持ってきてください。					
オフィス・アワー	木曜日 昼休み及び12:40～13:00 国際交流センター2階 国重研究室									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	国重 徹	Orientation, On how to read easy English books extensively				Preview of the textbook and extensive reading (1 hour)				
2	〃	Conclusion / Reasons				Review and preview of the textbook, and extensive reading (1 hour)				
3	〃	Social Trend				Review and preview of the textbook, and extensive reading (1 hour)				
4	〃	Result / Cause				Review and preview of the textbook, and extensive reading (1 hour)				
5	〃	Several Explanations				Review and preview of the textbook, and extensive reading (1 hour)				
6	〃	Comparison				Review and preview of the textbook, and extensive reading (1 hour)				
7	〃	For and Against				Review and preview of the textbook, and extensive reading (1 hour)				
8	〃	Classification				Review and preview of the textbook, and extensive reading (1 hour)				
9	〃	History				Review and preview of the textbook, and extensive reading (1 hour)				
10	〃	Process				Review and preview of the textbook, and extensive reading (1 hour)				
11	〃	Cause and Effect				Review and preview of the textbook, and extensive reading (1 hour)				
12	〃	Definition of a New Word				Review and preview of the textbook, and extensive reading (1 hour)				

13	"	Research	Review and preview of the textbook, and extensive reading (1 hour)
14	"	New Products, New Service	Review and preview of the textbook, and extensive reading (1 hour)
15	"	Reading Graphs	Review and preview of the textbook, and extensive reading (1 hour)
16	"	Final report or exam (online or in-person depending on the COVID-19 pandemic situation)	Review of the textbook, and extensive reading (1 hour)

授業科目名 (ナンバリングコード)	総合英語Ⅲ（健康とスポーツ関連の英語）		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (コミュニケーション科目)						
担当教員名	吉重 美紀					補助担当者名								
単位数	2 単位		履修年次	1～4		受け入れ人数		35						
授業の概要	約250語程度のわかりやすい英文で書かれた健康・ライフスタイルについての文章を読み、健康についての理解を深めるとともに、語彙やリスニング、読解等の英語力全般を高めることをめざす。健康トピックについて、自分の考えを英語で発表する練習もする。													
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法										
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %					
			授業	テスト	レポート	発表								
			■認知的領域	英文の内容を理解し、各話題に対し自分の考えを持ち、英語で表現できる。	○					○	○			30
			■情意的領域	健康とライフスタイルに関する英文を読むことで、健康に関する知識を深めるとともに、健康に関心を持つ。	○					○				30
■技能的領域	クラスでのインタラクティブな活動を通して、英語のリスニングやスピーキングの運用能力を伸ばす。	○			○	○			40					
成績評価の基準	課題、レポート提出、英語の発表、さらに学期末試験を行ない、総合的に評価して60点以上の者を合格とする。専門競技の紹介等、英語で発表する機会を持つ予定。													
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：『Healthy Habits for Better Life よりよい健康生活を求めて』（Joan McConnell,山内 圭著、成美堂、2021年） 参考書：『英単語学習の科学』（中田達也著、研究社、2019年）													
履修条件・ 関連科目	英語プレシメントテスト結果でこのクラスに指定された学生等。総合英語Ⅰ,Ⅱ(再履修)開講のため、開講できない学期もあります。その場合は、他の教員の総合英語Ⅲを受講するか他の学期で受講ください。 国際交流センターが提示する履修条件をよく読んで、履修ください。			備考(教員メッセージ含む)		辞書、タブレット必携。								
オフィス・アワー	水曜日：昼休み、図書館2階吉重教員室													
授業計画														
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)								
1	吉重 美紀	Introduction to the course、事前アンケート				Chap.1 p.8～10を予習する（1時間）								
2	〃	Chapter 1 Sleep Is Important				Chap. 2 p.14～16を予習する（1時間）								
3	〃	Chapter 2 Is Salt Bad for Us?				Chap. 3 p.20～22を予習する（1時間）								
4	〃	Chapter 3 Water Is Wonderful				Chap. 4 p.26～28を予習する（1時間）								
5	〃	Chapter 4 Hot Springs: A Miracle of Nature				Chap. 5 p.32～34を予習する（1時間）								
6	〃	Chapter 5 Healthy Lessons from the Blue Zones				Chap.6 p.38～40, U.1～5レポート(2.5時間)								
7	〃	Chapter 6 Unhealthy Habits				Chap.1～6 Review（1時間）								
8	〃	中間試験、レポート発表				Chap.7 p.44～46を予習する（1時間）								
9	〃	Chapter 7 Let's Dance!				Chap.8 p.50～52を予習する（1時間）								
10	〃	Chapter 8 The Story of Sugar				Chap.9 p.56～58を予習する（1時間）								
11	〃	Chapter 9 Companion Animals				Chap.10 p.62～64を予習する（1時間）								
12	〃	Chapter 10 Music and Medicine				Chap.11 p.68～70, U.6～10レポート(2時間)								
13	〃	Chapter 11 Please Listen to Me!				Chap.12 p.74～76を予習する（1時間）								
14	〃	Chapter 12 Let's Eat Together!				Chap.14 p.86～89, U.6～10レポート(2時間)								
15	〃	Chapter 14 Believe in Yourself!				学期末試験準備								
16	〃	Final Test (Written + Listening test)												

授業科目名 (ナンバリングコード)	総合英語Ⅳ（アクティブリーディング） (111B4-2203)		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (コミュニケーション科目)		
担当教員名	国重 徹					補助担当者名		なし		
単位数	2 単位		履修年次	全学年		受け入れ人数		25名		
授業の概要	国際人として英語を使えるようにするには、まず聴くことや読むことを通して、やさしい英語をたくさんインプットすることにより、相手が口頭もしくは文書で伝えようとすることを理解できるようにすることが必要となる。本授業ではReading skillの養成を中心としながらも、他の3技能、すなわち、Listening, Writing, Speakingのskills及び英文法の力などを総合的に養成することを目的とする。同時に、多読・多聴教材を用いて大量の英語のインプットを行い、英語の聴解力、読解力を伸ばすことも目的とする。さらに、読み聞かせ、多書・多話などを通して随時アウトプットの練習も行う。本科目は、本科目は、制定された教育目標、カリキュラムポリシーに基づいた「国内はもとより国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力を涵養する」ことを目標とする科目である。原則、授業は全て英語で行う。なお、新型コロナウイルスの感染状況により、対面授業が難しいと判断した場合は、オンラインによる遠隔授業とする。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	さまざまなトピックについて書かれた、ある程度の長さのやさしい英文をある程度以上の速度で日本語を介さずに英語のまま読んだり聴いたりして理解し、概要をつかめるようになる。	○				○		30
		■情意的領域	課題に主体的に取り組む。意欲的に英語を聴き取ろうとする。授業内はもちろん、授業外でも、自分のレベル、興味関心に合った英語多読・多聴の本を進んで読んだり、聴いたりしようという姿勢を示し、読んだり、聴いたりした本については、記録用紙に意欲的に記録しようとする。	○		○				30
■技能的領域	間違いを恐れず積極的に英文を音読したり、英語を話したり、書いたりすることができるようになる。	○	○		○	○		40		
成績評価の基準	定期試験（新型コロナウイルスの感染状況から対面の試験実施が難しいと判断した場合は、オンラインで行うか、レポート課題にする可能性あり）を実施し、その成績、課題、小レポート、言語活動（多読・多聴・多書・多話）への参加、多読・多聴の語数、冊数、記録用紙の提出状況などを総合的に評価し、60点以上を合格とする。									
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：『Changing Times, Changing Worlds』（Joan McConnell他著、成美堂、1900円+税） 補助教材：『英語多読・多聴教材』（こちらで全て準備します） 参考書：『どんどん話すための瞬間英作文トレーニング』（森沢洋介著、ベレ出版）									
履修条件・ 関連科目	履修条件：総合英語Ⅲの単位を修得していること、もしくは、TOEICスコア305以上（TOEICスコア換算したTOEFLなどの資格も含む）を有していること。 関連科目：総合英語Ⅲ、総合英語Ⅴ			備考(教員メッセージ含む)		大量の英語インプットとアウトプットを楽しみましょう！				
オフィス・アワー	木曜日 昼休み及び12:40～13:00 国際交流センター 2 階 国重研究室									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	国重 徹	Introduction、アンケート、授業の進め方等について、多読の仕方について、評価について				多読図書貸出、読み方・聴き方指導、多読・多聴及び授業の予習、復習(1時間)				
2	〃	Smokey Bear: A Mascot with a Message, 多読・多聴、（多書・多話は適宜）、記録、貸出 ※読み聞かせは随時行う。				多読図書貸出、読み方・聴き方指導、多読・多聴及び授業の予習、復習(1時間)				
3	〃	Overtourism is a Problem!, 多読・多聴、（多書・多話は適宜）、記録、貸出 ※読み聞かせは随時行う。				多読図書貸出、読み方・聴き方指導、多読・多聴及び授業の予習、復習(1時間)				
4	〃	Gender Equality in the Workplace, 多読・多聴、（多書・多話は適宜）、記録、貸出 ※読み聞かせは随時行う。				多読図書貸出、読み方・聴き方指導、多読・多聴及び授業の予習、復習(1時間)				
5	〃	Changing Definitions of Beauty, 多読・多聴、（多書・多話は適宜）、記録、貸出 ※読み聞かせは随時行う。				多読図書貸出、読み方・聴き方指導、多読・多聴及び授業の予習、復習(1時間)				
6	〃	Romeo and Juliet: A Tragic Story about Intolerance, 多読・多聴、（多書・多話は適宜）、記録、貸出 ※読み聞かせは随時行う。				多読図書貸出、読み方・聴き方指導、多読・多聴及び授業の予習、復習(1時間)				
7	〃	Nature and Health, 多読・多聴、（多書・多話は適宜）、記録、貸出 ※読み聞かせは随時行う。				多読図書貸出、読み方・聴き方指導、多読・多聴及び授業の予習、復習(1時間)				
8	〃	これまでの振り返り。投げ込み教材その1。				多読図書貸出、読み方・聴き方指導、多読・多聴及び授業の予習(1時間)				
9	〃	投げ込み教材その2。多読・多聴、（多書・多話は適宜）、記録、貸出 ※読み聞かせは随時行う。				多読図書貸出、読み方・聴き方指導、多読・多聴及び授業の予習、復習(1時間)				
10	〃	Golden Years and Silver Divorces, 多読・多聴、（多書・多話は適宜）、記録、貸出 ※読み聞かせは随時行う。				多読図書貸出、読み方・聴き方指導、多読・多聴及び授業の予習、復習(1時間)				
11	〃	Trees: A Gift from Nature, 多読・多聴、（多書・多話は適宜）、記録、貸出 ※読み聞かせは随時行う。				多読図書貸出、読み方・聴き方指導、多読・多聴及び授業の予習、復習(1時間)				
12	〃	Tattoos, 多読・多聴、（多書・多話は適宜）、記録、貸出 ※読み聞かせは随時行う。				多読図書貸出、読み方・聴き方指導、多読・多聴及び授業の予習、復習(1時間)				

13	”	Redefining Gender and Marriage, 多読・多聴、(多書・多話は適宜)、記録、貸出 ※読み聞かせは随時行う。	多読図書貸出、読み方・聴き方指導、多読・多聴 及び授業の予習、復習(1時間)
14	”	All the Lonely People, 多読・多聴、(多書・多話は適宜)、記録、貸出 ※読み聞かせは随時行う。	多読図書貸出、読み方・聴き方指導、多読・多聴 及び授業の予習、復習(1時間)
15	”	Final report or in-class exam (online or in-person depending on the COVID-19 pandemic situation) 多読・多聴、(多書・多話は適宜)、記録、貸出 ※読み聞かせは随時行う。	多読図書貸出、読み方・聴き方指導、多読・多聴 及び授業の予習、復習(1時間)

授業科目名 (ナンバリングコード)	総合英語Ⅳ（スポーツ英語） (111B4-2201)			授業形態	演習		授業科目区分	一般科目 (コミュニケーション科目)	
担当教員名	佐賀 ターニャ						補助担当者名		
単位数	2 単位			履修年次	1～4年次		受け入れ人数	25名	
授業の概要	In this course, students will learn to communicate in English in the sports field situations applying the knowledge from previous levels. In the context of sports, they might face international situations to communicate with people from different countries using English as a bridge for communication between players, coaches and sports managers.								
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法					
	D P で 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
■認知的領域	Students will use grammar and vocabulary learned in the previous levels to communicate in the sports field situations.	○		○				40	
■情意的領域	Attendance and participation are very important.Students will work individually and in groups.	○			○			30	
■技能的領域	Students will use what they learned in each class such as communication and presentaion skills to make a presentation about the sport they are engaged in.		○		○			30	
成績評価の基準	Attendance and participation 30% Classwork and homework 40% Final test/Presentation 30%								
テキスト、教材 参 考 書	Materials will be provided by the instructor.								
履修条件・ 関連科目				備考(教員メッセージ含む)		Come to every class and do your best!			
オフィス・アワー	Please contact the instructor by WebClass.								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	佐賀 ターニャ	Introduction of the class. English in the sports field.				3 min self-introduction. Guess sho this athlete is? (30 min).			
2	〃	Present Tense review and exercises. Sports vocabulary: baseball/softball				2 min presentation of "My favorite sport or player". (30 min).			
3	〃	Present simple review and exercises. Sports vocabulary: track and field/jogging and walking				Describe "My daily activities as an athlete and student". (30 min).			
4	〃	Present continuous review and exercises. Sports vocabulary: gymnastics/training				2 min presentation "I am studying at NIFS and preparing for…". (30 min).			
5	〃	Past Tense review and exercises. Sports vocabulary: swimming/ marine Sports				Describe "Our best team's match, tournament, Sports day festival". (30 min).			
6	〃	Past Tense review and exercises. Sports vocabulary: basketball / volleyball				Presentatiopn: "My hometown and my sports experience" (30 min).			
7	〃	Future Tense review and exercises. Sports vocabulary: rugby / soccer				Describe "My goal or dream" (30 min).			
8	〃	English Modals review and exercises. Sports vocabulary: tennis / table tennis				Prepare for the final presentation "The sport I am engaged in" (30 min).			
9	〃	English Modals review and exercises. Budo vocabulary: judo / kendo / naginata				Prepare for the final presentation "The sport I am engaged in" (30 min).			
10	〃	How to make questions. Grammar check and exercises. Sports vocabulary: Lifelong sports / recreation / outdoor sports				Prepare 5 questions about your presentation for your classmates. (30 min).			
11	〃	Conjugations and clauses review and exercises. Sports vocabulary: golf and dance				Prepare questions to ask about your classmates' presentations. (30 min).			
12	〃	Presentations(5 students) Feedback and questions				Choose one presentation and describe it.(30min)			
13	〃	Presentations(5 students) Feedback and questions				Choose one presentation and describe it.(30min)			
14	〃	Presentations(5 students) Feedback and questions				Choose one presentation and describe it.(30min)			
15	〃	Presentations(5 students) Feedback and questions				Choose one presentation and describe it.(30min)			
16	〃	Presentations(5 students) Feedback and questions				Final report (30min)			

授業科目名 (ナンバリングコード)	総合英語Ⅳ（日常会話） (111B4-2202)		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (コミュニケーション科目)		
担当教員名	エルメス デイビット					補助担当者名				
単位数	2 単位		履修年次	1～4年次		受け入れ人数		25		
授業の概要	Asking questions is a very important part of communication. The main goal of this class is to strengthen your ability to ask and answer basic questions in English using REAL English information (= information about you). We will use these questions to practice effective techniques for communication (A+) and to improve your English fluency.									
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D P で 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	Asking and answering questions with relevant information; presenting ideas clearly					○		30
		■情意的領域	Attendance and active participation in individual, group, and class activities	○						30
■技能的領域	Effective Questioning and Answering skills (=Communication); Presentation skills			○	○			40		
成績評価の基準	Attendance（出席）30％ Classwork（課題、プレゼンテーション）40％ Final Test（期末試験）30％									
テキスト、教材 参 考 書	Let's Chat (EFL Press) by John Pak									
履修条件・ 関連科目	TOEIC 305-395 Prerequisite: 総合英語Ⅲ		備考(教員メッセージ含む)		Please come to every class and try your best!					
オフィス・アワー	毎週の水曜日 10～17：00、毎週の木曜日 13：00～17：00、毎週の火曜日 13：00～17：00 遠隔の場合：適宜対応。ただし、事前にメールなどでアポイントを取っておくこと。									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	エルメス デイビット	Class Introduction				Review and prepare required procedures (Zoom etc.) and materials (textbook etc.) 1時間				
2	〃	Unit 1 Getting Acquainted (Part 1) Personal Information; Reporting information about classmates				Writing: Answer simple questions about your partner（1時間）				
3	〃	Unit 1 Getting Acquainted (Part 2) Do you like…? Which do you prefer…?				Write (and answer) 4 questions: Do you like…? What's your favorite…? Do you prefer…?（1時間）				
4	〃	Unit 2 Experiences (Part 1) Transcription (Listen and write)				Writing: Add 2 more lines for Reiko and Mark（1時間）				
5	〃	Unit 2 Experiences (Part 2) Giving a 'reason' before a question Q&A: When you were young…? / When you were a child…?				Ask me 3 questions about when I was young（1時間）				
6	〃	Unit 2 Experiences (Part 2) Verbs: go? went? gone Have you ever…?				Answer 3 questions from page 7. Add more information to explain your answer（1時間）				
7	〃	Unit 3 Sport & Leisure What do you know about sumo?! Paraphrasing questions				Paraphrase 12 questions about sports（1時間）				
8	〃	Unit 3 Sport & Leisure I think a … is bigger than a … / Sports and Leisure questions				Write 5 'interesting' questions about sports and leisure（1時間）				
9	〃	Presentation: Sports and Leisure Presentation Introduction				Presentation planning and preparation（1時間）				
10	〃	Presentation Preparation & Practice				Presentation practice（2時間）				
11	〃	Presentation Day!				Presentation 感想（1時間）				
12	〃	Unit 4 Shopping & Money He said, "…"/ Paraphrasing				Complete the paraphrasing Mark and Reiko's conversation（1時間）				
13	〃	Unit 4 Shopping & Money Reading & Writing numbers How much is a 1-bedroom apartment in Sydney Australia?				Add information (x3) to the prices you found online（1時間）				
14	〃	Unit 4 Shopping & Money What's the population of …? How much do you usually spend?				Answer 3 questions (with information) about money and time（1時間）				
15	〃	Course review & Final Test introduction				Study!（3時間）				
16	〃	Final Test								

授業科目名 (ナンバリングコード)	総合英語Ⅳ（プレゼンテーション入門） (111B4-2204)		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (コミュニケーション科目)						
担当教員名	国重 徹					補助担当者名		なし						
単位数	2 単位			履修年次	全学年		受け入れ人数	25名						
授業の概要	グローバル化の進んだ現在、英語で効果的なプレゼンテーションをする能力がますます必要になってきている。本授業では、基本的な英語のプレゼンテーションの構成や、作り方を学び、それに基づいて実際に英語で簡単なプレゼンテーションを作り、発表し、受講者も含めてお互いにレビューし合い、それに基づいてプレゼンテーションを改善、再発表、再評価というサイクルで授業を展開する。本授業を通して、本学の教育目標やカリキュラムポリシーにおける「国内はもとより国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力」の涵養が期待される。なお、本授業は基本的に全て英語で実施する。なお、新型コロナウイルスの感染状況により、対面授業が難しいと判断した場合は、オンラインによる遠隔授業とする。													
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法										
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %					
			授業	テスト	レポート	発表								
			■認知的領域	英語のプレゼンテーションの構成や種類、具体的な作り方、発表の仕方の基礎を理解し、実際にプレゼンテーションを作成、発表する際に、得た基礎的知識を生かせる。	○					○	○			60
			■情意的領域	プレゼンテーション作成などの課題に主体的、積極的に取り組む。間違いを恐れず、英語で相手に意味のある内容を伝えようという意欲を持つ。	○						○			20
■技能的領域	英語によるプレゼンテーションに必要な基礎的スキル（Reading, Listening, Speaking, Writing）を身につける。効果的なプレゼンテーションに必要な論理性、構成力、話し方及び、非言語的な技能（デリバリー：姿勢、アイコンタクトなど）の基礎を身につける。	○		○	○			20						
成績評価の基準	プレゼンの作成取り組み、発表（修正も含む）、課題提出等を総合的に評価し、60点以上を合格とする。発表等は、新型コロナウイルスの感染状況により、対面もしくはオンラインで行う。													
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：『Writing for Presentations in English』（杉田由仁他著、南雲堂）（1700円＋税）													
履修条件・ 関連科目	履修条件：総合英語Ⅲの単位を修得していること、もしくは、TOEICスコア305以上（TOEICスコア換算したTOEFLなどの資格も含む）を有していること。 関連科目：総合英語Ⅲ、総合英語Ⅴ			備考(教員メッセージ含む)		基礎的な英語のプレゼンテーション技術を身につけられるよう、一緒に学びましょう。								
オフィス・アワー	木曜日 昼休み及び12:40～13:00 国際交流センター2階 国重研究室													
授業計画														
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)								
1	国重 徹	授業のオリエンテーション、多読の仕方説明 Introduction, Chapter 1 Informative Presentations Section 1: The History of Our University, Example of an English presentation, Preparation of the first English presentation (Topic: My Favorite Sport)				Section 2の予習、発表準備、多読多聴（1時間）								
2	〃	Section 2: My Favorite Country, Preparation of the first English presentation (Topic: My Favorite Sport)				Section 3の予習、発表準備、多読多聴（1時間）								
3	〃	Section 3: The Four Basic Food Groups, Preparation of the first English presentation (Topic: My Favorite Sport)				Section 4の予習、発表準備、多読多聴（1時間）								
4	〃	Section 4: Japan's Education System, Delivering the first English presentation (Topic: My Favorite Sport), Review and/or modification of the presentation				Section 5の予習、発表準備、プレゼンパワポ修正、多読多聴（1時間）								
5	〃	Section 5: What is Science? Delivering the first English presentation (Topic: My Favorite Sport), Review and/or modification of the presentation				Section 6の予習、発表準備、プレゼンパワポ修正、多読多聴（1時間）								
6	〃	Section 6: Social Networking Services, Delivering the first English presentation (Topic: My Favorite Sport), Review and/or modification of the presentation				プレゼンパワポ修正、多読多聴（1時間）								
7	〃	Delivering the first English presentation (Topic: My Favorite Sport) the second time, Review and/or modification of the presentation				Section 2の予習、発表準備、プレゼンパワポ修正、多読多聴（1時間）								
8	〃	Delivering the first English presentation (Topic: My Favorite Sport) the second time, Review and/or modification of the presentation, Chapter 2 Persuasive Presentations Section 1: Should Students Wear School Uniforms? Preparation of the second English presentation (Topic will be related to sports, budo, and/or health.)				Section 2の予習、発表準備、多読多聴（1時間）								
9	〃	Section 2: The Case for Organ Donation, Preparation of the second English presentation				Section 3の予習、発表準備、多読多聴（1時間）								
10	〃	Section 3: Global Warming: What Is to Be Done? Preparation of the second English presentation				Section 4の予習、プレゼンパワポ修正、多読多聴（1時間）								
11	〃	Section 4: Exercise and Physical Fitness, Delivering the second English presentation, Review and/or modification of the presentation				Section 5の予習、プレゼンパワポ修正、多読多聴（1時間）								

12	"	Section 5: Overpopulation: Causes and Consequences, Delivering the second English presentation, Review and/or modification of the presentation	Section 6の予習、プレゼンパワボ修正、多読多聴（1時間）
13	"	Section 6: Hybrid or Electric? Delivering the second English presentation, Review and/or modification of the presentation	プレゼンパワボ修正、多読多聴（1時間）
14	"	Delivering the second English presentation the second time, Review and/or modification of the presentation	プレゼンパワボ修正、多読多聴（1時間）
15	"	Delivering the second English presentation the second time, Review and/or modification of the presentation, Review of the whole course, Answering the questionnaire, Questions and Answers	プレゼンパワボ修正（1時間）

授業科目名 (ナンバリングコード)	総合英語Ⅴ（Q & Aのテクニック） (111B5-2200)		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (コミュニケーション科目)	
担当教員名	国重 徹					補助担当者名		なし	
単位数	2 単位			履修年次	全学年		受け入れ人数	25名	
授業の概要	さまざまなテーマの英語の新聞記事や英文に基づいて英語で自分の意見を話す練習、英語運用能力を高めるのに効果のあるシャドウイングの練習及び大量の英語のインプットのための多読・多聴を通してfluencyを高め、国際人として通用する英語力の基礎を身につける。本授業を通して、本学の教育目標やカリキュラムポリシーにおける「国内はもとより国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力」の涵養が期待される。原則として授業は全て英語で行う。なお、新型コロナウイルスの感染状況により、対面授業が難しいと判断した場合は、オンラインによる遠隔授業とする。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法					
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
■認知的領域	さまざまなテーマの大量の英文を、ある程度以上の速度で日本語を介さず英語のまま読んだり聴いたりして理解し、概要をつかめるようになる。	○			○	○		30	
■情意的領域	授業内はもちろん、授業外でも、自分のレベル、興味関心に合った英語多読・多聴の本を進んで読もうという姿勢を示し、読んだ本については、記録用紙に意欲的に記録しようとする。間違いを恐れず、進んで英語で自分の意見を言おうとする。	○		○	○			30	
■技能的領域	英文を正しい発音とイントネーションで音読及び、シャドウイングできるようになる。また、英語での相手の意見を理解し、尊重した上で、積極的に英語で自分の意見を言うことができるようになる。	○	○		○	○		40	
成績評価の基準	定期試験（新型コロナウイルスの感染状況から対面の試験実施が難しいと判断した場合は、オンラインで行う可能性あり）をマンツーマンのインタビュー形式で実施する。その成績、課題、小テスト、言語活動（主にgroup discussion）への参加、多読・多聴の語数、冊数、記録用紙の提出状況などを総合的に評価し、60点以上を合格とする。								
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：『新ゼロからスタートシャドーイング（入門編）』（宮野智靖著、ジェイ・リサーチ出版、1400円＋税） 補助教材：『英字新聞の記事やその他のさまざまな英文』及び『英語多読・多聴教材』（こちらで全て準備します） 参考書：『どんどん話すための瞬間英作文トレーニング』（森沢洋介著、ベレ出版）								
履修条件・ 関連科目	履修条件：総合英語Ⅳの単位を修得していること、もしくは、TOEICスコア400以上（TOEICスコア換算したTOEFLなどの資格も含む）を有していること。 関連科目：総合英語Ⅳ、総合英語Ⅵ			備考(教員メッセージ含む)		授業で渡すdiscussion用の英文（記事）は前もって必ず読み、discussion pointsについての自分の意見を英語で言えるように準備しておくこと。辞書は必ず持参すること。大量の英語インプットとアウトプットを楽しみましょう！			
オフィス・アワー	木曜日 昼休み及び12:40～13:00 国際交流センター2 階 国重研究室								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	国重 徹	Introduction、アンケート、自己紹介、授業の進め方について、評価について、シャドウイングについて、多読について				discussion用の英文記事及び多読図書を読む（60分）。シャドウイングの練習（10分）。多読・多聴図書貸出。読み方指導。			
2	〃	シャドウイングテスト用英文提示、discussion、英文記事提示、多読・多聴				discussion用の英文記事及び多読図書を読む（60分）。シャドウイングの練習（10分）。多読・多聴図書貸出。読み方指導。			
3	〃	シャドウイングの練習、discussion、英文記事提示、多読・多聴				discussion用の英文記事及び多読図書を読む（60分）。シャドウイングの練習（10分）。多読・多聴図書貸出。読み方指導。			
4	〃	シャドウイングの練習、discussion、英文記事提示、多読・多聴				discussion用の英文記事及び多読図書を読む（60分）。シャドウイングの練習（10分）。多読・多聴図書貸出。読み方指導。			
5	〃	シャドウイングの練習、discussion、英文記事提示、多読・多聴				discussion用の英文記事及び多読図書を読む（60分）。シャドウイングの練習（10分）。多読・多聴図書貸出。読み方指導。			
6	〃	シャドウイングの練習、discussion、英文記事提示、多読・多聴				discussion用の英文記事及び多読図書を読む（60分）。シャドウイングの練習（10分）。多読・多聴図書貸出。読み方指導。			
7	〃	授業内マンツーマン面接①				discussion用の英文記事及び多読図書を読む（60分）。シャドウイングの練習（10分）。多読・多聴図書貸出。読み方指導。			
8	〃	授業内マンツーマン面接②（人数等の必要に応じて）				多読図書を読む（60分）。シャドウイングの練習（10分）。多読・多聴図書貸出。読み方指導。			
9	〃	面接のreview、シャドウイングテスト用英文提示、英文記事提示、多読・多聴				discussion用の英文記事及び多読図書を読む（60分）。シャドウイングの練習（10分）。多読・多聴図書貸出。読み方指導。			

10	〃	シャドウイングの練習、discussion、英文記事提示、多読・多聴	discussion用の英文記事及び多読図書を読む（60分）。シャドウイングの練習（10分）。多読・多聴図書貸出。読み方指導。
11	〃	シャドウイングの練習、discussion、英文記事提示、多読・多聴	discussion用の英文記事及び多読図書を読む（60分）。シャドウイングの練習（10分）。多読・多聴図書貸出。読み方指導。
12	〃	シャドウイングの練習、discussion、英文記事提示、多読・多聴	discussion用の英文記事及び多読図書を読む（60分）。シャドウイングの練習（10分）。多読・多聴図書貸出。読み方指導。
13	〃	シャドウイングの練習、discussion、英文記事提示、多読・多聴	discussion用の英文記事及び多読図書を読む（60分）。シャドウイングの練習（10分）。多読・多聴図書貸出。読み方指導。
14	〃	シャドウイングの練習、discussion、英文記事提示、多読・多聴	discussion用の英文記事及び多読図書を読む（60分）。シャドウイングの練習（10分）。多読・多聴図書貸出。読み方指導。
15	〃	授業内マンツーマン面接①	discussion用の英文記事及び多読図書を読む（60分）。シャドウイングの練習（10分）。多読・多聴図書貸出。読み方指導。
16	〃	授業内マンツーマン面接②（人数等の必要に応じて）	

授業科目名 (ナンバリングコード)	総合英語 V（海外留学）① (111B5-2201)		授業形態	演習	授業科目区分	一般科目 (コミュニケーション科目)				
担当教員名	シレニ・ミヒヤエル				補助担当者名					
単位数	2 単位		履修年次	1～4 年次	受け入れ人数	25				
授業の概要	This class will introduce several topics related to culture, language and sports. The class will provide students with vocabulary, grammar and communication skills necessary to communicate their thoughts and opinions about these topics.									
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D P で 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	Students will apply their acquired language skills to write cohesive short texts about a topic.					○		30
		■情意的領域	Students will conduct simple research about the presented topics and introduce their findings to each other.	○						30
■技能的領域	Students will use learned language to communicate in partners and groups, and to complete language activities.	○			○			40		
成績評価の基準	Students will receive points for attendance and for active participation each class.									
テキスト、教材 参 考 書	Evolve Student's Book 1 (by Leslie Anne Hendra et al.) 英和・和英辞典									
履修条件・ 関連科目			備考(教員メッセージ含む)		Please come on time and prepared!					
オフィス・アワー	質疑は授業後、若しくはメールにて受け付けます。メールアドレス：michael.sileny@gmail.com									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)					
1	〃	Orientation, introduction			Review (30 minutes)					
2	〃	Textbook Unit 1 (I am…)			Review (1 hour)					
3	〃	Textbook Unit 2 (Great people) "How similar are European Languages?"			Reading, looking up vocabulary (1 hour)					
4	〃	Review "How similar are European Languages?" Textbook Unit 3 (Come in)			Review (1 hour)					
5	〃	Textbook Unit 4 (I love it) "Where does the hamburger come from?"			Reading, looking up vocabulary (1 hour)					
6	〃	Review "Where does the hamburger come from?" Textbook Unit 5 (Mondays and fun days)			Review (1 hour)					
7	〃	Textbook Unit 6 (Zoom in, zoom out) "Is Twitter bad for sports performance?"			Reading, looking up vocabulary (1 hour)					
8	〃	Review "Is Twitter bad for sports performance?" Textbook Unit 7 (Now is good)			Review (1 hour)					
9	〃	Textbook Unit 8 (You're good!) "How Different Accents Develop"			Reading, looking up vocabulary (1 hour)					
10	〃	Review "How Different Accents Develop" Textbook Unit 9 (Places to go)			Review (1 hour)					
11	〃	Textbook Unit 10 (Get ready) "What Happens if the Olympic Torch Accidentally Goes Out?"			Reading, looking up vocabulary (1 hour)					
12	〃	Review "What Happens if the Olympic Torch Accidentally Goes Out?" Textbook Unit 11 (Colorful memories)			Review (1 hour)					
13	〃	Textbook Unit 12 (Stop, eat, go) "Where Does Baseball Come From?"			Reading, looking up vocabulary (1 hour)					
14	〃	Review "Where Does Baseball Come From?" Textbook Unit 12 (Stop, eat, go)			Review (1 hour)					
15	〃	Review			Test study (2 hours)					
16	〃	Test								

授業科目名 (ナンバリングコード)	総合英語Ⅴ（海外留学）② (111B5-2201)		授業形態	演習		授業科目区分	一般科目 (コミュニケーション科目)						
担当教員名	エルメス デイビット					補助担当者名							
単位数	2 単位		履修年次	1～4年次		受け入れ人数	25						
授業の概要	In this class, you will study useful English for school life abroad. You will also create your own personal English-Japanese handbook. The handbook will include useful questions, expressions, and language you learn each day in class.												
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法									
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %				
			授業	テスト	レポート	発表							
		■認知的領域	Understand and be able to use natural English expressions for active study (=communication) abroad								○		30
		■情意的領域	Attendance and active participation in individual, group, and class activities	○									30
■技能的領域	Effective Questioning and Answering skills; Communicative Fluency; Presentation skills			○	○				40				
成績評価の基準	Attendance（出席）3 0 % Classwork（課題、プレゼンテーション、英和ハンドブック(20%)）4 0 % Final Test（期末試験）3 0 %												
テキスト、教材 参 考 書	Encounters on Campus (NAN'UN-DO) by Michael P Critchley Pocket-sized notebook (英和ハンドブック用)												
履修条件・ 関連科目	TOEIC 400-445 Prerequisite: 総合英語Ⅳ			備考(教員メッセージ含む)		Please come to all classes and try your best!							
オフィス・アワー	毎週の水曜日 1 0 ～ 1 7 : 0 0、毎週の木曜日 1 3 : 0 0 ～ 1 7 : 0 0、毎週の火曜日 1 3 : 0 0 ～ 1 7 : 0 0 遠隔の場合：適宜対応。ただし、事前にメールなどでアポイントを取っておくこと。												
授業計画													
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)							
1	エルメス デイビット	Class Introduction				Review and prepare required procedures (e.g. Zoom, WebClass) and materials (textbook etc.) (1時間)							
2	〃	Unit 1 Nice to Meet You - Making friends on campus				Add today's English to E-J notebook (1時間)							
3	〃	Unit 2 This is My Friend - Introducing people				Add today's English to E-J handbook (1時間)							
4	〃	Unit 3 Where Do People Hang Out? - Asking for advice				Add today's English to E-J handbook (1時間)							
5	〃	Unit 4 I Went to That Place - Sharing experiences				Add today's English to E-J handbook (1時間)							
6	〃	Unit 5 I Have a Question - Asking questions in class				Add today's English to E-J handbook (1時間)							
7	〃	Unit 6 Would It Be Possible to Study This? - Making requests to a teacher				Add today's English to E-J handbook (1時間)							
8	〃	Unit 7 I Have to Miss Next Class - Explaining an absence to a teacher				Add today's English to E-J handbook (1時間)							
9	〃	Presentation Introduction/Preparation - NIFS in Kanoya: My School Life				Presentation preparation (2時間)							
10	〃	Presentations				Presentation 感想 (1時間)							
11	〃	Unit 8 What Are You Doing on Sunday? - Inviting friends to go out				Add today's English to E-J notebook (1時間)							
12	〃	Unit 9 What Should We Get? - Suggesting/Talking about foods				Add today's English to E-J notebook (1時間)							
13	〃	Unit 10 Yeah, I'll Give You That - Exchanging opinions				Add today's English to E-J notebook (1時間)							
14	〃	Unit 11 Come On, I'll Help You - Encouraging/Supporting friends				Add today's English to E-J notebook (1時間)							
15	〃	Class review				Study! (3時間)							
16	〃	Final Test											

授業科目名 (ナンバリングコード)	総合英語Ⅴ（アクティブコミュニケーション） (111B5-2202)		授業形態	演習		授業科目区分	一般科目 (コミュニケーション科目)			
担当教員名	シレニ・ミヒヤエル					補助担当者名				
単位数	2 単位		履修年次	1～4年次		受け入れ人数	25			
授業の概要	This class will introduce several topics related to culture, language and sports. The class will provide students with vocabulary, grammar and communication skills necessary to communicate their thoughts and opinions about these topics.									
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	Students will apply their acquired language skills to write cohesive short texts about a topic.					○		30
		■情意的領域	Students will conduct simple research about the presented topics and introduce their findings to each other.	○						30
		■技能的領域	Students will use learned language to communicate in partners and groups, and to complete language activities.	○			○			40
成績評価の基準	Students will receive points for attendance and for active participation each class.									
テキスト、教材 参 考 書	New Connection Book 1 (by Teruhiko Kadoyama et al.) 英和・和英辞典									
履修条件・ 関連科目			備考(教員メッセージ含む)		Please come on time and prepared!					
オフィス・アワー	質疑は授業後、若しくはメールにて受け付けます。メールアドレス：michael.sileny@gmail.com									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	〃	Orientation, introduction				Review (30 minutes)				
2	〃	Textbook Unit 1 (Greeting People)				Review (1 hour)				
3	〃	"German Bread"				Reading, looking up vocabulary (1 hour)				
4	〃	Review "German Bread" Textbook Unit 2 (Talking about Eating Habits)				Review (1 hour)				
5	〃	"Weird Sports: Cheese Rolling"				Reading, looking up vocabulary (1 hour)				
6	〃	Review "Weird Sports: Cheese Rolling" Textbook Unit 3 (Making Suggestions)				Review (1 hour)				
7	〃	"Why are there so many vegetarians in Europe?"				Reading, looking up vocabulary (1 hour)				
8	〃	Review "Why are there so many vegetarians in Europe?" Textbook Unit 4 (Receiving Customers)				Review (1 hour)				
9	〃	"Why are English pronunciations so weird?"				Reading, looking up vocabulary (1 hour)				
10	〃	Review "Why are English pronunciations so weird?" Textbook Unit 5 (Asking for a Lower Price)				Review (1 hour)				
11	〃	"The Rivalry Between Adidas and Puma"				Reading, looking up vocabulary (1 hour)				
12	〃	Review "The Rivalry Between Adidas and Puma" Textbook Unit 6 (Asking for Directions)				Review (1 hour)				
13	〃	"Global Warming and the Winter Olympics"				Reading, looking up vocabulary (1 hour)				
14	〃	Review "Global Warming and the Winter Olympics" Textbook Unit 7 (Making an Appointment)				Review (1 hour)				
15	〃	Review				Test study (2 hours)				
16	〃	Test								

授業科目名 (ナンバリングコード)	総合英語Ⅵ（オリンピック） (111B6-2200)		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (コミュニケーション科目)		
担当教員名	佐賀 ターニャ					補助担当者名				
単位数	2 単位			履修年次	1～4年次		受け入れ人数	15		
授業の概要	In this course, students will learn to communicate and discuss topics related to the Olympics applying the English knowledge from previous levels. They will use grammar, reading, writing, listening and speaking skills to communicate in an international environment related to the sports field.									
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	Students will use grammar and vocabulary learned in the previous levels to communicate different topics related to the Olympics.	○		○				40
		■情意的領域	Attendance and participation are very important. Students will work individually and in groups	○			○			30
		■技能的領域	Students will use the contents learned in each class such as communication and presentation skills to make a presentation about a topic related to the Olympics.		○		○			30
成績評価の基準	Attendance and participation 30% Classwork and homework 40% Final Test / Presentation 30%									
テキスト、教材 参 考 書	Materials will be provided by the instructor									
履修条件・ 関連科目				備考(教員メッセージ含む)		Come to every class and do your best!				
オフィス・アワー	Please contact the instructor by Webclass.									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	佐賀 ターニャ	Introduction of the class. Basics of communicatin. English and the Olympics.				Self-introduction. Let's talk: "My topic of interest related to the Olympics"(30min)				
2	〃	Olympics: Summer and winter games. Vocabulary and terms related to the Olympics.				Communication: My experience with the Olympics.(30min)				
3	〃	History: Origin of the Olympics.				Discuccion and Opinion (30min)				
4	〃	Olympic Movement				Discuccion and Opinion (30min)				
5	〃	Beyond the games: Olympic values.				Discuccion and Opinion (30min)				
6	〃	Beyond the games: Peace and sports				Discuccion and Opinion (30min)				
7	〃	Mega Events, sports tourism and marketing				Discuccion and Opinion based on video clips (30min)				
8	〃	Olympic and development. Olympic Legacy				Choose a topic for presentation (30min)				
9	〃	How to make a presentation and how to make questions				Prepare for presentation (30min)				
10	〃	Presentations(2) Feedback and questions				Short report (30min)				
11	〃	Presentations(2) Feedback and questions				Short report (30min)				
12	〃	Presentations(2) Feedback and questions				Short report (30min)				
13	〃	Presentations(2) Feedback and questions				Short report (30min)				
14	〃	Presentations(2) Feedback and questions				Short report (30min)				
15	〃	Presentations(2) Feedback and questions				Short report (30min)				
16	〃	Presentations(2) Feedback and questions				Final Report (30min)				

授業科目名 (ナンバリングコード)	総合英語Ⅵ（異文化コミュニケーション） (111B6-2201)		授業形態	演習		授業科目区分	一般科目 (コミュニケーション科目)			
担当教員名	エルメス デイビット					補助担当者名				
単位数	2 単位		履修年次	1～4年次		受け入れ人数	15			
授業の概要	People around the world share common issues. However, different people think (and talk) about those issues differently. In this class, you will study about some common issues that many people face and learn English that will help you to discuss these kinds of issues better.									
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	Expressing opinions with relevant information; presenting ideas clearly					○		30
		■情意的領域	Attendance and active participation in individual, group, and class activities	○						30
	■技能的領域	Effective discussion skills for communication; Presentation skills			○	○			40	
成績評価の基準	Attendance（出席）3 0 % Classwork（課題、プレゼンテーション）4 0 % Final Test（期末試験）3 0 %									
テキスト、教材 参 考 書	Impact Issues 2 (Pearson Japan) by Richard Day et al.									
履修条件・ 関連科目	TOEIC 450-495 Prerequisite: 総合英語Ⅴ			備考(教員メッセージ含む)		Please come to all classes, try your best, and share your opinions!				
オフィス・アワー	毎週の水曜日 1 0 ～ 1 7 : 0 0、毎週の木曜日 1 3 : 0 0 ～ 1 7 : 0 0、毎週の火曜日 1 3 : 0 0 ～ 1 7 : 0 0 遠隔の場合：適宜対応。ただし、事前にメールなどでアポイントを取っておくこと。									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	エルメス デイビット	Class introduction				Review and prepare required procedures (e.g. Zoom, WebClass) and materials (textbook etc.) (1時間)				
2	〃	Unit 1. First Impressions				For you, which features are the most important about a person's appearance? (1時間)				
3	〃	Unit 2. Big or small?				What is good about living in a city?、 (1時間)				
4	〃	Unit 3. The Good Language Learner				What are the pros of living in another country?、 (1時間)				
5	〃	Unit 4. Getting Ahead				How do you think parents should show their love?、 (1時間)				
6	〃	Unit 5. Forever Single				What are the benefits of staying single?、 (1時間)				
7	〃	Presentation Introduction				Presentation planning (1時間)				
8	〃	Presentation preparation and practice				Presentation preparation and practice (2時間)				
9	〃	Presentation Day				Presentation 感想 (1時間)				
10	〃	Unit 6. What are friends for?				What do you and your close friends usually do for each other?、 (1時間)				
11	〃	Unit 10. My Student Life				What are the most important reasons to go to university?、 (1時間)				
12	〃	Unit 11. International Relationships				What are some advantages and disadvantages of an international marriage?、 (1時間)				
13	〃	Unit 12. Create Another Future				Which ideas do you think are excellent for improving the environment?、 (1時間)				
14	〃	Unit 15. Ask Annie				Ex. 1 What do you think about living together before marriage?、 (1時間)				
15	〃	Course review & Final Test introduction				Study! (3時間)				
16	〃	Final Test								

授業科目名 (ナンバリングコード)	総合英語Ⅶ（海外で暮らす） (111B7-2202)		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (コミュニケーション科目)		
担当教員名	シレン・ミハエル					補助担当者名				
単位数	2 単位		履修年次	1～4年次		受け入れ人数		15		
授業の概要	This class will introduce several topics related to culture, language and sports. The class will provide students with vocabulary, grammar and communication skills necessary to communicate their thoughts and opinions about these topics. The main focus will be on intercultural understanding and communication.									
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	Students will apply their acquired language skills to write cohesive short texts about a topic.					○		30
		■情意的領域	Students will conduct simple research about the presented topics and introduce their findings to each other.	○						30
■技能的領域	Students will use learned language to communicate in partners and groups, and to complete language activities.	○			○			40		
成績評価の基準	Students will receive points for attendance and for active participation each class.									
テキスト、教材 参 考 書	Four Corners Level 2 Student's Book (by Jack C. Richards, David Bohlke) 英和・和英辞典									
履修条件・ 関連科目			備考(教員メッセージ含む)		Please come on time and prepared!					
オフィス・アワー	質疑は授業後、若しくはメールにて受け付けます。メールアドレス：michael.sileny@gmail.com									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	〃	Orientation, introduction				Review (30 minutes)				
2	〃	Textbook Unit 1 (My interests)				Research, preparation (1 hour)				
3	〃	Group discussion: "What's the European Union?"				Reading, research (1 hour)				
4	〃	In depth discussion: "What's the European Union?" Textbook Unit 2 (Descriptions)				Review (1 hour)				
5	〃	Textbook Unit 3 (Rain or shine)				Research, preparation (1 hour)				
6	〃	Group discussion: "What's so special about FC Barcelona?"				Reading, research (1 hour)				
7	〃	In depth discussion: "What's so special about FC Barcelona?" Textbook Unit 4 (Life at home)				Review (1 hour)				
8	〃	Textbook Unit 5 (Health)				Research, preparation (1 hour)				
9	〃	Group discussion: "What German Traditions Do You Know?"				Reading, research (1 hour)				
10	〃	In depth discussion: "What German Traditions Do You Know?" Textbook Unit 6 (What's on TV?)				Review (1 hour)				
11	〃	Textbook Unit 7 (Shopping)				Research, preparation (1 hour)				
12	〃	Group discussion: "The Strange History of Neuschwanstein Castle"				Reading, research (1 hour)				
13	〃	In depth discussion: "The Strange History of Neuschwanstein Castle" Presentation introduction + preparation				Review (1 hour) Presentation preparation (1 hour)				
14	〃	Presentation preparation				Presentation preparation (1 hour)				
15	〃	Presentations Review				Test study (2 hours)				
16	〃	Test								

授業科目名 (ナンバリングコード)	総合英語Ⅶ (実践プレゼンテーション) (111B7-2203)		授業形態	演習		授業科目区分	一般科目 (コミュニケーション科目)							
担当教員名	エルメス デイビット					補助担当者名								
単位数	2 単位		履修年次	1～4年次		受け入れ人数	15							
授業の概要	In this class, you will learn skills and phrases for use in presentations. You will use those skills to create a presentation, practice it, and deliver it to the class. The class aims to strengthen your ability to present effectively in English.													
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法										
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %					
			授業	テスト	レポート	発表								
			■認知的領域	Understand and be able to use language and skills for effective English presentations						○	○			20
			■情意的領域	Attendance and active participation in individual, group, and class activities	○									30
■技能的領域	Presentation skills; Effective Questioning and Answering skills; Communicative Proficiency				○				50					
成績評価の基準	Attendance: 30% Presentations: 50% Assignments: My Favorite Speech (10pts), Group outline (10pts), Presentation Self-Evaluation Sheet x2(20pts): 20%													
テキスト、教材 参 考 書	Effective Presentation Skills for Beginners (Asahi Press) by Tomoko Sugihashi et al.													
履修条件・ 関連科目	TOEIC 500- Prerequisite: 総合英語Ⅵ			備考(教員メッセージ含む)		Come to every class, try your best, and don't be shy!								
オフィス・アワー	毎週の水曜日 1 0 ～ 1 7 : 0 0、毎週の木曜日 1 3 : 0 0 ～ 1 7 : 0 0、毎週の火曜日 1 3 : 0 0 ～ 1 7 : 0 0 遠隔の場合：適宜対応。ただし、事前にメールなどでアポイントを取っておくこと。													
授業計画														
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)								
1	エルメス デイビット	Class Introduction				Review and prepare required procedures (e.g. Zoom, WebClass) and materials (textbook etc.) (1時間)								
2	〃	Unit 1 Getting Started 1.1-1.3				Review (1時間)								
3	〃	Review 1.2 & 1.3 Unit 1 Getting Started 1.4 & 1.5				1.5 Start thinking about the project topic: "My Favorite ____" (1時間)								
4	〃	Unit 2 Voice				2.5 Preparation for a one minute speech A. Complete My Favorite ____ exercises B. Read the example. C. Write a script of My Favorite ____. (1時間)								
5	〃	Unit 3 Gestures				3.5 Bring a typed "My Favorite" presentation script, and add more details to your one minute speech. (1時間)								
6	〃	Unit 4 Q&A Skills				4.5 A. Bring some photos / pictures or objects related to your presentation B. Make a list of 1) the questions your audience may ask and 2) your possible answers. (1時間)								
7	〃	Unit 5 Visuals				5.5 Finish your visuals and bring it to the class for presentation rehearsals. (1時間)								
8	〃	Unit 6 Rehearsals				6.5 Rehearse at least 10 times. Simulate the actual situation as much as possible (time limit, using your poster on the wall etc.) (1時間)								
9	〃	Unit 7 On Stage (Presentation)				7.4 Watch your video and fill out your Self-Evaluation sheet. (1時間)								
10	〃	Extra Skill Unit I Group Presentations				Collect information for the group topic. (1時間)								
11	〃	Extra Skill Unit I Group Presentations				Submit the group outline. Start writing a script of your part of the presentation. (1時間)								
12	〃	Extra Skill Unit II Using Data and Graphs				Include some data and a graph. Add more details and expand your presentation script. (1時間)								

13	"	Extra Skill III Speaking More Fluently In-class Group Presentation preparation	Complete the script. Put all the visuals in one file if PowerPoint is used. Practice your part of the presentation. (1 時間)
14	"	Group presentation rehearsals	Practice, practice, practice. (1 時間)
15	"	Group presentations	Fill in the Group Presentation Self-Evaluation sheet. (1 時間)
16	"	Group presentations II Review and Feedback	

授業科目名 (ナンバリングコード)	中国語 (111A0-2300)		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (コミュニケーション科目)					
担当教員名	陳 躍					補助担当者名							
単位数	2 単位			履修年次	1年次		受け入れ人数	50名程度					
授業の概要	ほぼ毎年中国からの留学生と台湾からの留学生が参加しているので、留学生と交流する形で楽しく学べると思う。留学生の参加を大歓迎！！ 中国語会話の練習はスポーツだと考える。会話は頭より口を使い、説明を聞くより真似て練習する。言葉は形で文化がその中身である。文化を言葉と平行して学んでいくのが最速な方法だと考える。90分のうち、70分程度練習し、残りの時間は文化や事情を語る。中国の映画を数回鑑賞する。授業毎に感想を書いてもらい、参考にする。希望に応えるように、授業のあり方を随時修正する。												
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法									
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理 (キャリアデザイン力)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %				
			授業	テスト	レポート	発表							
		■認知的領域	日中文化の相違点を知る			○							30
		■情意的領域	主体的に授業へ取り組む 日中文化の相違に興味、関心を持つ	○									30
■技能的領域	簡単な会話と自己紹介ができる		○			○		40					
成績評価の基準	授業期間における演習への参加、授業ごとの会話小テスト、レポート感想、期末テストの各得点を合計し、60点以上のものを合格とする。												
テキスト、教材 参 考 書	テキストは、次のものを購入すること、『楽しい中国』于国軍著 斯文堂2009 年@1,700円 参考書として、次のものを推薦する、『恋文の翻訳一日中往来』陳躍著 南日本新聞社2005 年@1,500円												
履修条件・ 関連科目	特になし。			備考(教員メッ セージ含む)		テキストに沿って授業を行うので、必ずテキストの準備を してください。							
オフィス・アワー	非常勤のため、授業以外の時間は大学にいないので、メールで対応する。chenyue0205@yahoo.co.jp												
授業計画													
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)							
1	陳 躍	会話練習：第1回我是上海人（授業ガイダンス） 文化事情：「空気を読まない」と中国人空気を読む日本人」				予習30分復習30分 中国事情を聞いた感想を書く20分							
2	〃	第2回我叫王平 「ストレートに言う中国人と遠回しにいう日本人」				同様							
3	〃	第3回南京路 「傍若無人な中国人と人の目ばかり気にする日本人」				同様							
4	〃	第4回几点了？ 「朝青龍を好きな中国人と白鵬を好む日本人」				同様							
5	〃	第5回今日は星期几？ 「卓球を好きな中国人と野球を好きな日本人」				同様							
6	〃	第6回家有几口人？ 「店員さんが神様である中国人とお客さんが神様である日本人」				同様							
7	〃	第7回没関系（映画） 「『構わない』をよくいう中国人と『すまない』をよくいう日本人」				同様							
8	〃	第8回香港的夏天（映画） 「なれなれしい中国人とよそよそしい日本人」				同様							
9	〃	第9回四川菜很好吃 「初対面の人に給料を聞く中国人と妻にしか給料を教えない日本人」				同様							
10	〃	第10回我经常散步 「自分の用件から言う中国人と相手の都合から聞く日本人」				同様							
11	〃	第11回牌价是多少？ 「イルカを食べる中国人とくじらを食べる日本人」				同様							
12	〃	第12回漢語難不難 家族には「有難う」言わない中国人と家族にも「有難う」いう日本人				同様							
13	〃	第13回我没吃蒜 「『私』をよく使う中国人と『思う』をよく使う日本人」				同様							
14	〃	第14回我想去超市 喧嘩を恐れない中国人と喧嘩を恐れる日本人				同様							
15	〃	第15回我家玩？ 違って当たり前と思う中国人と違いを嫌う日本人				同様							
16	〃	学期末試験中国語での自己紹介発表				同様							

授業科目名 (ナンバリングコード)	韓国語 (111A0-2301)		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (コミュニケーション科目)			
担当教員名	李 賢雄					補助担当者名					
単位数	2 単位		履修年次	1 年次		受け入れ人数		40名程度			
授業の概要	韓国語を基礎からきちんと学びたい、韓国人との簡単な日常会話を楽しみたい、韓国の文化への理解を深めたい学生を対象に授業を行い、異文化への興味関心を持つことを期待する。										
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法							
	D P で 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %		
			授業	テスト	レポート	発表					
			■認知的領域	この科目を学ぶことにより、ハングルの読み書きができる。	○			○	○		60
			■情意的領域	韓国の文化を学ぶことにより異文化への興味関心を持ち、他者へ説明ができる。	○		○				20
■技能的領域	基礎文法及び表現を学ぶことにより、簡単な日常会話ができる。	○	○					20			
成績評価の基準	・成績認定の必要条件是、2／3以上の出席率（出席回数10回以上） ・定期試験 60%、小テスト 20%、課題 20%の各得点を合計し、60点以上のものを合格とする。										
テキスト、教材 参 考 書	・テキスト：「KOREAN LANGUAGE I」、HYUNWOONG LEE & KAORI TSURUTA 共著、2021年 ・参考書：「あいうえおから始める書き込み式ハングルBOOK」、栗原 景 著、2012年、成美堂出版										
履修条件・ 関連科目	特になし。		備考(教員メッセージ含む)		・毎回、前回学習した内容について小テストを行う。 ・テキストに沿って授業を行うので、必ずテキストを準備し、予習をしておくこと。 ・学習した内容をレポート課題(プリントを用意)として出し、次回に回収、チェックをして学生に返します。						
オフィス・アワー	質疑等は授業後、若しくは以下のメールにて受けます。 satsuma0509@naver.com										
授業計画											
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)					
1	李 賢雄	オリエンテーションとハングル字の学習（基本母音）				基本母音字の書き（40分）					
2	〃	ハングル字の学習（子音：平音）				子音字の書き①（40分）					
3	〃	ハングル字の学習（子音：激音・濃音）				子音字の書き②（40分）					
4	〃	ハングル字の学習（複合母音）				複合母音字の書き（40分）					
5	〃	ハングル字の学習（パッチム）				パッチムの書き（40分）					
6	〃	かな文字のハングル対照表&電子機器のハングル入力の方法				47都道府県のハングル表記の書き（60分）					
7	〃	発音変化（有声化・連音化・濃音化・鼻音化・激音化）				発音矯正の書き(60分)					
8	〃	第1課 挨拶と??紹介について（文法と応用）				新しい表現と単語の書き（60分）					
9	〃	第2課 物事の名称について（単語と本文読み）				新しい表現と単語の書き(60分)					
10	〃	第2課 物事の名称について（文法と練習問題）				練習課題（30分）					
11	〃	第3課 家族の呼び名と& 存在の有無について（単語と本文読み）				新しい表現と単語の書き(60分)					
12	〃	第3課 家族の呼び名と& 存在の有無について（文法と練習問題）				練習課題（30分）					
13	〃	第4課 場所の名称と交通手段について（単語と本文読み）				新しい表現と単語の書き（60分）					
14	〃	第5課 場所の名称と交通手段について（文法と応用）				練習課題(60分)					
15	〃	第5課 漢数字と買い物について（単語と本文読み）				総合練習課題（40分）					
16	〃	学期末試験									

授業科目名 (ナンバリングコード)	国語・文章表現法 (111A0-3300)		授業形態	講義・演習	授業科目区分	一般科目 (コミュニケーション科目)				
担当教員名	栗山 靖弘・山田 恭久・小路 由美子・日高 孝				補助担当者名					
単位数	2 単位		履修年次	1年次	受け入れ人数	170名程度				
授業の概要	本授業では、新入生が本学で学術的な学習をする上で必要不可欠なアカデミックライティングや国語力に関する基礎的な知識（認知）やスキル（技能）、マナー（態度）の修得を目指すことを目標としている。具体的には、アカデミックライティングは、毎回提出する授業レポートや課題作品の作成、国語力では読書の必要性を理解し、課題の図書を読んで自己考察文を作成し、推敲や発表を行う。本授業を通して、ドキュメンテーションスキル・プレゼンテーションスキル・コミュニケーションスキル等の基礎が構築されることを期待している。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	・語彙，文法，文章構成などの表現に必要な基礎知識について理解できる ・読書を通して身につく能力について理解し活用できる	○			○			35
		■情意的領域	・他者の文章についても興味・関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ること，国語や表現に関する情報を仲間と協力して探求し，要点を整理することができる	○			○			23
■技能的領域	・自分の言葉で思いを表現することができる ・論理的で読み手に分かりやすい文章を書くことができる				○			42		
成績評価の基準	授業の取組は、授業への積極的な準備や参加度（〔授業レポート：3点×14回＋授業まとめレポート4点＝46点〕や〔課題作品：18点×3回＝54点〕及び[作品発表：15点×2回]）について総合的に評価し，単位認定を行う．なお，課題を期日までに提出・準備できなかった場合は，減点の対象となる．									
テキスト、教材 参 考 書	課題図書を必ず購入すること：永田和宏(2018)『知の体力』新潮社.(836円) その他、授業テキストと資料を配付する．									
履修条件・ 関連科目	1年次に履修することが望ましい．		備考(教員メッセージ含む)		大学での学びを深めるために重要な科目である．					
オフィス・アワー	栗山：随時対応：研究棟6階 教員研究室 山田・小路・日高：授業の前夜に対応									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)					
1	栗山 靖弘 山田 恭久 小路 由美子 日高 孝	オリエンテーション：国語・文章表現法での学びとは			授業レポートの作成〔3点〕， 授業資料の復習（30分）					
2	〃	文章表現の基礎：文章構成と思考の流れ，クラス分け			授業レポートの作成〔3点〕， 授業資料の復習（30分）					
3	〃	課題A：文章を論理的に書く，「自己体験に基づく意見文」の表現法 （課題選択，主題設定，構想）			授業レポートの作成〔3点〕 課題A〔18点〕， 構想表の作成（1時間）					
4	〃	：良い文章とは（グループ・ディスカッション）， 文章の推敲			授業レポートの作成〔3点〕， 作品の下書き（1時間）					
5	〃	：文章表現上の留意点整理，文章の推敲			授業レポートの作成〔3点〕， 作品の清書（1時間）， 作品の音読（30分）					
6	〃	：作品発表，自己評価・他者評価			授業レポートの作成〔3点〕， 作品発表A[15点]， 授業資料の復習（30分）， 課題図書の通読（1時間）					
7	〃	課題B 読書の力，「課題図書からの自己考察文」の表現法			授業レポートの作成〔3点〕 課題B〔18点〕， 課題図書の通読（1時間）， 構 想表の作成（1時間）					
8	〃	：「課題図書からの自己考察文」の構想と記述			授業レポートの作成〔3点〕， 作品の下書き（1時間）					
9	〃	：良い文章とは（グループ・ディスカッション）， 文章の推敲			授業レポートの作成〔3点〕， 作品の清書（1時間）， 作品の音読（30分）					
10	〃	：作品発表，自己評価・他者評価			授業レポートの作成〔3点〕， 作品発表A， 授業資料の復習（30分）					
11	〃	課題C：自分をどう表現するかー自分の言葉で思いを伝えるー 自己分析，自分史，自己PR等，様々な文種の紹介			授業レポートの作成〔3点〕 課題C〔18点〕， 授業資料の復習と自己分析（30分）， 構想表の作成（1時間）					
12	〃	「自己分析からの自己表明文」の構想と記述			授業レポートの作成〔3点〕， 下書きの作成（1時間）					
13	〃	：良い文章とは（グループ・ディスカッション）， 文章の推敲			授業レポートの作成〔3点〕， 作品の清書（1時間）， 作品の音読（30分）					
14	〃	：作品発表，自己評価・他者評価			授業レポートの作成〔3点〕， 作品発表B[15点]， 作品の音読（30分）， 授業資料の復習（30分）					
15	〃	授業のまとめ，振り返りと授業評価			授業レポートの作成〔4点〕， 作品発表B， 授業振り返りアンケートの記入（10分）					

授業科目名 (ナンバリングコード)	ドイツ語 (111A0-2302)		授業形態	演習	授業科目区分		一般科目 (コミュニケーション科目)					
担当教員名	大野 克彦				補助担当者名							
単位数	2 単位		履修年次	1年次		受け入れ人数		30名程度				
授業の概要	【授業の目標】ドイツ語の実用的なコミュニケーション能力（初歩的な会話・文法・読解・聴解など）を修得する。 【授業の運営方法】テキストや補助資料などを用いながら授業をおこなう。 【学習の効果】自分に関することが伝えたり、簡単な表現が理解できるようになることが期待される。											
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法								
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理 (課題解決力)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %			
			授業	テスト	レポート	発表						
		■認知的領域	基礎的な語句・文法・読解力を修得する。 初歩的なコミュニケーション能力を身につける。								○	60
		■情意的領域	授業に積極的に参加し、課題に意欲的に取り組む。		○					○		20
■技能的領域	自分のことについて表現することができる 相手のことについて尋ねることができる		○		○		20					
成績評価の基準	成績発行の必要条件是6割以上の出席率（出席回数10回以上）。 成績評価の具体的基準は、定期試験60%および毎時間終了時の確認テスト・授業中の発表40%。											
テキスト、教材 参 考 書	プリントを配付して授業を行う。											
履修条件・ 関連科目	特になし			備考(教員メッセージ含む)		特になし						
オフィス・アワー	質問は授業後、もしくはメールで受け付ける。											
授業計画												
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)							
1	大野 克彦	授業ガイダンス（演習の概要、評価方法等）、アルファベットの読み方			復習：アルファベットの読み方（30分）							
2	〃	つづりと発音、数字			復習：つづりと発音の対応を覚える（60分）							
3	〃	第1課 動詞の不定形、人称代名詞			復習：不定形の構造を理解する（60分）							
4	〃	第1課 動詞の現在人称変化			復習：動詞の変化を覚える（60分）							
5	〃	第1課 平叙文、命令文、疑問文			復習：動詞の定形の位置を理解する（30分）							
6	〃	第1課 練習問題、あいさつ表現			復習：動詞にかかわる文法事項を振り返る（60分）							
7	〃	第2課：sein, haben の現在人称変化			復習：sein, haben の変化を暗記する（30分）							
8	〃	第2課 はい・いいえの答え方、nichtの位置			復習：疑問文への答え方を習得する（30分）							
9	〃	第2課 練習問題、時刻の言い方、天候の表現			復習：第2課への内容を振り返る（60分）							
10	〃	第3課 名詞の性、定冠詞、名詞の複数形			復習：名詞の性と男性・中性・女性の定冠詞を覚える（60分）							
11	〃	第3課 不定冠詞、所有冠詞			復習：男性・中性・女性の不定冠詞、所有冠詞を覚える（60分）							
12	〃	第3課 練習問題、日常使う名詞			復習：第3課の内容を振り返る（60分）							
13	〃	第4課：話法の助動詞とその現在人称変化			復習：話法の助動詞の変化を覚える（30分）							
14	〃	第4課：話法の助動詞を持つ文の語順			復習：助動詞の定形と本動詞の不定形の位置を理解する（30分）							
15	〃	第4課：練習問題、いろいろな会話表現			復習：前期の学習を振り返る（60分）							
16	〃	学期末試験										

授業科目名 (ナンバリングコード)	フランス語 (111A0-2303)		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (コミュニケーション科目)					
担当教員名	新納 恵子					補助担当者名							
単位数	2 単位		履修年次	1年次		受け入れ人数		30名程度					
授業の概要	【授業の目標】フランス語での簡単な自己紹介ができるようになることを目標に、フランス語の発音と聞き取りの練習、文法の基礎を習得する。 【授業の運営方法】自己紹介用の文例、フランス文化に関連した動画などを使って授業を行なう。全員参加型のグループレッスン形式を取り入れ、各自がフランス語での自己紹介ができるように指導する。 【学習の効果】フランス語での簡単な自己紹介と簡単な会話ができるようになることが期待される。												
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法									
	D P で 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %				
			授業	テスト	レポート	発表							
		■認知的領域	基礎的な発音、聞き取り、文法を習得し、フランス人とのコミュニケーションのために必要な文化や習慣を理解して、フランス人との初歩的な会話ができるようになる。								○		60
		■情意的領域	授業に興味を持って積極的に参加し、意欲的に会話に参加する。		○					○			20
■技能的領域	自分がフランス語で言っていることを理解してもらうことができる。相手がフランス語で言っていることを理解することができる。相手に質問をして会話を成立させることができる。		○		○			20					
成績評価の基準	成績発行の必要条件は、2／3以上授業に出席すること。 成績評価の具体的基準は、授業中の発表＋確認テストが40％、学期末試験が60％。												
テキスト、教材 参 考 書	適宜プリントを配布して授業を行う。												
履修条件・ 関連科目	特になし。			備考(教員メッセージ含む)									
オフィス・アワー	授業後に質問を受け付ける。												
授業計画													
回	担当教員名	授業内容					授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)						
1	新納 恵子	授業ガイダンス（授業の概要、評価の仕方の説明） フランス語の「アルファベ」の発音					復習：アルファベの発音（20分）						
2	〃	日本語になったフランス語を発音する。 フランス語の綴り字の読み方					復習：単語の発音練習（20分）						
3	〃	フランス語で挨拶する。（「こんにちは」「さようなら」） フランス語の基本的な挨拶（主語人称代名詞）					復習：フランス語の挨拶（20分）						
4	〃	「私は日本人です。」 (男性名詞と女性名詞の区別)（動詞 Être の活用表）					復習: 「私は日本人です。」という表現を覚える。(20分)						
5	〃	「私は19歳です。」(年齢を言う。) (フランス語の数字 1～20 まで)（動詞 avoir の活用表）					復習: フランス語の数字(1から20まで)を覚える。 (20分)						
6	〃	「私は日本に住んでいます。」(住んでいる場所を言う) (縮約形①)（動詞 habiter の活用表）					復習: 「～に住んでいる」とい表現を覚える。(20分)						
7	〃	「私は鹿児島の出身です。」(出身地を言う。) (縮約形②)（動詞 venir の活用表）					復習：「～の出身です」という表現を覚える。(20分)						
8	〃	「私の父は47歳です。市役所で働いています。」(職業を言う。) (所有形容詞 私の～)（動詞 travailler の活用表）					復習：「～で働いています」という表現を覚える。 (20分)						
9	〃	「母は自然が好きで、よく散歩をしています。」(好きなことを言う①)（動詞 aimer の活用表）（動詞 Marcher の活用表）					復習：「～が好きです」という表現を覚える。（1）(20分)						
10	〃	「弟は高校生です。スポーツ好きで毎日運動しています。」 (好きなことを言う②)（動詞 faire の活用表 ①）					復習：「～をする」という表現を覚える。(20分)						
11	〃	「私の妹は中学生です。チーズが大好きで、毎朝パンとチーズを食べています。」(好きなことを言う③)（動詞 Prendre の活用表）					復習：「～を食べる」という表現を覚える。						
12	〃	「祖母は料理が好きで、毎日おいしい料理を作ってくれます。」 (～が好き、という表現)（動詞 faire の活用表 ②）					復習：「～が好きです」という表現を覚える。（2）(20分)						
13	〃	「私の両親は、旅行が大好きで、よく旅行に行っています。」 (～が大好き、という表現)（動詞 Aller の活用表）					復習：「～が好きです」という表現を覚える。（3）(20分)						
14	〃	「私も旅行が好きで、フランスに行くのが夢です。」 (自分の夢を語る①)（動詞 vouloir の活用表）					復習：「私の夢は～です」という表現を覚える。 (20分)						
15	〃	「いつかフランスに行って、フランス人と話がしてみたい。」 (自分の夢を語る②)（動詞 parler の活用表）					復習：「～してみたい」という表現を覚える。(20分)						
16	〃	期末試験											

授業科目名 (ナンバリングコード)	日本語演習 I		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (コミュニケーション科目)		
担当教員名	吉重 美紀					補助担当者名		な し		
単位数	2 単位		履修年次	1年次		受け入れ人数		10		
授業の概要	専門分野での勉学・研究には、日本語による論理的思考による理解および表現能力が不可欠である。本授業では、初級から中級への移行期にある留学生を対象に作成されたテキストを使って、ある目的を達成するために、いかに的確に効率的に読むか、書くかのスキルと能力の獲得を目指す。これにより、読み書きを軸とする言語能力および自己開発能力の養成が期待される。									
授業の到達目標 及び成績評価の方法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D P で 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理、科学的表現力	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	日本語の文章構造に関する知識、文章の論理構造に関する知識、文法に関する知識、および読解スキルを養成する。	○			○	○		40
		■情意的領域	内容を予測しながら読み、学習者どうし話し合って内容に関心を持つ。積極的に情報検索しながら読む。	○			○	○		30
■技能的領域	専門分野のレポート、論文、専門書などの論理的な文章を読むことが出来るようになる。「文章の型」に則って書くことができるようになる。話し合いや発表で意見や感想を述べるときに用いる表現が使えるようになる。	○	○			○		30		
成績評価の基準	授業への参加、小テスト、レポート提出、日本語による口頭発表の各得点を合計し、60点以上の者を合格とする。									
テキスト、教材 参 考 書	『改訂版 日本語中級J301--中級前期--(英語版)』（石沢弘子、新内康子、関正昭他著、スリーエーネットワーク、2016、2,500 円+税） 『中級日本語文法要点整理ポイント 2.0』（友松悦子他著 スリーエー ネットワーク、2007、2,000 円）から資料配布									
履修条件・ 関連科目	外部講師による日本語補講（通年で週4コマ開講予定）を同時に履修する事が望ましい。 7月、12月実施の日本語能力試験に挑戦する事が望ましい。			備考(教員メッセージ含む)		国際交流センター1階CR2 教室を使用予定				
オフィス・アワー	火曜日 15時50分～16:50分 図書館2階 吉重教員室									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	吉重 美紀	日本語プレイスメントテスト、インタビュー、事前アンケート、コース説明				第1課 予習（1時間）				
2	〃	第1課 舌を出したアインシュタイン：読むまえに、本文、文章の型、Q & A、				スピーチ指導、文法練習（1時間）				
3	〃	第1課 舌を出したアインシュタイン：Grammar Notes、練習、ことばのネットワーク				スピーチ指導、書いてみよう（作文）（1時間）				
4	〃	第1課 :書いてみよう、話し合ってみよう				スピーチ指導、小テスト準備（1時間）				
5	〃	第2課 わたしと小鳥とすずと：読むまえに、本文、文章の型、Q&A、				スピーチ指導、文法練習（1時間）				
6	〃	第2課： Grammar Notes、練習、ことばのネットワーク				第2課 <書いてみよう>の準備（1時間）				
7	〃	第2課：書いてみよう、話し合ってみよう				スピーチ指導、第2課小テスト準備（1時間）				
8	〃	第3課 ロボットの始まりは：読むまえに、本文、文章の型、Q & A、				スピーチ指導、文法練習（1時間）				
9	〃	第3課：Grammar Notes、練習、ことばのネットワーク				スピーチ指導、書いてみようの準備（1時間）				
10	〃	第3課：書いてみよう、話し合ってみよう				スピーチ指導、第3課小テスト準備（1時間）				
11	〃	第4課 写真好きの日本人は、なぜ家族の写真を職場に飾らないのか：読むまえに、本文、文章の型、Q & A				第1課～3課で発表、レポート提出（1.5時間）				
12	〃	第4課：Grammar Notes、練習、ことばのネットワーク				スピーチ指導、話し合ってみようの準備（1時間）				
13	〃	第5課 どのくらい待たされるとイライラしますか：読むまえに、本文、文章の型				スピーチ指導、文法練習（1時間）				
14	〃	第5課 どのくらい待たされるとイライラしますか：Grammar Notes、練習、ことばのネットワーク				学期末試験（口頭発表）課題の提示、発表の準備（2時間）				
15	〃	学期末試験：スライドを準備しての口頭発表（5分/1人）、授業のまとめ								

授業科目名 (ナンバリングコード)	日本事情		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (コミュニケーション科目)					
担当教員名	吉重 美紀					補助担当者名		な し					
単位数	2 単位		履修年次	1年次		受け入れ人数		10名程度					
授業の概要	留学生は、自国や自分自身について日本など他国との比較を通して意識的に捉えなおし、自国の事情や自分の考えを日本語で発信できる力が不可欠である。本授業では、日本事情をきっかけとして提供し、留学生の自国の事情と比較しながらクラスの討議を通して日本の諸事情の理解を深めると同時に、自国の事情についても発信できるようになることをめざす。												
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法									
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %				
			授業	テスト	レポート	発表							
		■認知的領域	自国と日本、都市と地方、昔と今など、多様な方向から比較するタスクを通して、日本を多角的に知ることができる。	○						○			30
		■情意的領域	日本社会・日本人の意識や行動に対して関心をもつと同時に、一緒に学ぶ留学生の異なる国々の文化や習慣にも関心を持つ。	○						○			30
■技能的領域	自分で調べ、友達と話し合い、クラスで発表することで、日本語での情報収集、情報伝達、原稿作成、発表などの基本的スキルを養成する。	○		○	○			40					
成績評価の基準	授業期間における演習への参加、レポート、口頭発表の各得点を合計し、60点以上の者を合格とする。												
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：『クローズアップ日本事情15—日本語で学ぶ社会と文化』（佐々木瑞枝著、ジャパンタイムズ、2017）、 『日本語学習者のための読解厳選テーマ10（中級）』（清水正幸他著、凡人社） 参考書：『ことばの風景（2）-日本の大学・地域・文化-』（吉重美紀著 鹿屋体育大学2008）												
履修条件・ 関連科目	外部講師による日本語補講（レベル別）を同時に履修する事が望ましい。 7月、12月実施の日本語能力試験に挑戦する事が望ましい。			備考(教員メッセージ含む)		学部留学生だけでなく大学院生や研究生も受講できますので、事前に相談にきてください。							
オフィス・アワー	火曜日 15時50分～16：50分 図書館2階 吉重教員室												
授業計画													
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)							
1	吉重 美紀	日本語プレイズメントテスト、インタビュー、オリエンテーション				第1課を読む（1時間）							
2	〃	Unit 1. 日本ってどんな国？Section 1, 2				Task A,Bの発表準備をする（1.5時間）							
3	〃	U.1.3 火山と森林、地震が起きても慌てないために				Task C,Dの発表準備をする（1.5時間）							
4	〃	Unit 2. 都市の暮らし・地方の暮らし				Task A,Bの発表準備をする（1時間）							
5	〃	Unit 2.3. 古民家ブームから見えてくること				Task C,Eの発表準備をする（1.5時間）							
6	〃	Unit 3. 日本の旅を楽しもう				Task A,Bの発表準備をする（1.5時間）							
7	〃	Unit 3.3.都市部で発達する地下鉄網、ICカード				Task D,F,Gの発表準備をする（1.5時間）							
8	〃	Unit 4. いただきます				Task B,Cの発表準備をする(1時間)							
9	〃	Unit 4. 道の駅、B級グルメとご当地グルメ				Task E,F,Gの発表準備をする（1.5時間）							
10	〃	鹿児島の方言				出身地紹介の発表準備をする(1時間)							
11	〃	Unit 5 季節を楽しむ年中行事				Task A,Bの発表準備をする（1.5時間）							
12	〃	U.5 年中行事と食べ物				Task E,Fの発表準備をする（1時間）							
13	〃	夢中になる人たち：鉄道ファンの世界				最終口頭発表の準備をする（1.5時間）							
14	〃	オタク、万歳！--留学生スピーチ--				最終口頭発表の準備をする(1.5時間)							
15	〃	最終口頭発表				発表指導							

授業科目名 (ナンバリングコード)	倫理・哲学 (112A0-1300)		授業形態	講義		授業科目区分		一般科目 (社会・文化・自然科学科目)	
担当教員名	小川 仁志					補助担当者名			
単位数	2 単位		履修年次	1		受け入れ人数		何名でも可	
授業の概要	授業の目標：哲学のあらゆる分野について一通り基礎を知り、それらの知識を使いこなせるようになる 授業の運営方法：講義を基本とするが、グループワークも取り入れる 学習の効果：哲学的思考ができるようになる								
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法					
	D P で 目指す 資質・ 能力	一般教養・倫理 (コミュニケーション力、課題解決力)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
■認知的領域	受講者は哲学のあらゆる分野の基礎知識を修得する。				○			20	
■情意的領域	自分の人生や世の中に深いレベルに関心を持つようになる。	○						10	
■技能的領域	哲学的に物事が考えられるようになる。			○				70	
成績評価の基準	成績発行の必要条件是、3分の2以上の出席率（10回以上）。成績評価の具体的基準は、授業での発表への積極的参加20点、対話への積極的参加10点、最終のレポートの成績70点。								
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：必要に応じてプリントを配布 参考書：小川仁志著『ビジネスエリートのための！リベラルアーツ哲学』（すばる舎）								
履修条件・ 関連科目	特になし。		備考(教員メッセージ含む)		対話を重視するので、積極的参加のできる人の履修を期待します。				
オフィス・アワー	集中講義のため休み時間に対応。								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	小川 仁志	イントロダクションー哲学を学び、使うとはどういうことか？				授業関連資料に関する復習（1時間）			
2	〃	西洋哲学とは何か？ー知のツールとして西洋哲学をマスターする				授業関連資料に関する復習（1時間）			
3	〃	幸福論を学ぶー三大幸福論を中心に幸福に関する哲学を紹介する				授業関連資料に関する復習（1時間）			
4	〃	哲学カフェ①ー「幸せとは何か？」をテーマに哲学対話を行う				授業関連資料に関する復習（1時間）			
5	〃	政治哲学とは何か？ー政治哲学の基礎について概説する				授業関連資料に関する復習（1時間）			
6	〃	政治哲学の実践ー政治哲学を使って課題の解決を試みる				授業関連資料に関する復習（1時間）			
7	〃	日本哲学とは何か？ー日本哲学の基礎について概説する				授業関連資料に関する復習（1時間）			
8	〃	日本映画に見る日本哲学ー日本映画を見て日本哲学を抽出する				授業関連資料に関する復習（1時間）			
9	〃	中国哲学とは何か？ー中国哲学の基礎を概説する				授業関連資料に関する復習（1時間）			
10	〃	中国哲学の名言に学ぶー中国哲学の名言を分析する				授業関連資料に関する復習（1時間）			
11	〃	応用倫理とは何か？ー応用倫理の基礎を概説する				授業関連資料に関する復習（1時間）			
12	〃	哲学カフェ②ースポーツ倫理をテーマに哲学対話を行う				授業関連資料に関する復習（1時間）			
13	〃	現代思想とは何か？ー現代思想の基礎について概説する				授業関連資料に関する復習（1時間）			
14	〃	現代思想を作るー現代思想の構築を試みる				授業関連資料に関する復習（1時間）			
15	〃	アニメ哲学体験ー哲学としてのアニメを体験する				授業関連資料に関する復習（1時間）			
16	〃	アニメ哲学とは何か？ーアニメと哲学の関係について考察する				授業関連資料に関する復習（1時間）			

授業科目名 (ナンバリングコード)	人権論 (112A0-1301)		授業形態	講義		授業科目区分		一般科目 (社会・文化・自然科学目)		
担当教員名	森 克己					補助担当者名				
単位数	1 単位		履修年次	1年次		受け入れ人数		200名程度		
授業の概要	人権の意義・内容・歴史などを解説するとともに、日本国憲法や国際人権章典・条約等の人権規定の意義・内容等を解説することにより、受講生が人権問題の考え方や基礎知識を身につける。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D P で 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	現代社会における主要な人権問題の考え方を身に付ける。		○			○		50
		■情意的領域	授業に積極的に参加し、レポートに積極的に取り組む。	○		○				50
□技能的領域										
成績評価の基準	学期末試験の成績、毎回の授業時に課されるレポートへの取組みを総合的に評価する。									
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：授業時に資料を配付する。 参考書：中川義朗編・『現代の人権と法を考える』（法律文化社）									
履修条件・ 関連科目	特になし。			備考(教員メッセージ含む)		特になし。				
オフィス・アワー	森：水曜日、木曜日の午後（５０８研究室）									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	森 克己	オリエンテーション：学習の目的、内容、方法、評価のしかた				履修要項の予習（10分以上）				
2	〃	人権の意義、内容、歴史①				参考書・資料等の予習・復習（30分以上）				
3	〃	人権の意義、内容、歴史②				参考書・資料等の予習・復習（30分以上）				
4	〃	現代社会における人権				参考書・資料等の予習・復習（30分以上）				
5	〃	子どもの人権（総論）				参考書・資料等の予習・復習（30分以上）				
6	〃	子どもの人権（各論）（児童虐待）①				参考書・資料等の予習・復習（30分以上）				
7	〃	子どもの人権（各論）（児童虐待）②				参考書・資料等の予習・復習（30分以上）				
8	〃	定期試験								

授業科目名 (ナンバリングコード)	ジェンダー論 (112A0-1302)		授業形態	講義	授業科目区分	一般科目 (社会・文化・自然科学)		
担当教員名	前田 博子				補助担当者名			
単位数	1 単位		履修年次	1年次	受け入れ人数	180		
授業の概要	将来、教員を目指す学生、指導者を目指す学生にとって必要な科目として位置付けられます。 ジェンダーの用語の背景を理解し、性別による社会的不利益について、性に関わる多様性についての理解を深めます。 受講を通してみなさん自身の認識についての気づきを得たり、広く社会におけるジェンダーバイアスに敏感になることが期待されます。							
授業の到達目標 及び成績評価の方法	授業の到達目標			成績評価の方法				
	D P で 目指す 資質・ 能力	指導者基礎力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表		
		■認知的領域	ジェンダーに関する課題についての知識を得る。 ジェンダー課題の背景についての理解を高める。 ジェンダーによる格差の是正に関する取組についての知識を得る。	○		○		50
		■情意的領域	授業参加と課題に積極的に取り組むこと。	○		○		50
□技能的領域								
成績評価の基準	学期末試験の成績、毎回の授業時に課されるレポートへの取組みを総合的に評価する。							
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：適宜プリントを配付する 参考書：飯田貴子他編「よくわかるスポーツとジェンダー」（ミネルヴァ書房）							
履修条件・ 関連科目	特になし。		備考(教員メッセージ含む)	授業開始は6月2日（金）となります。 事前にWebClassにを登録し、授業の情報を確認してください。 P C を必携とし、オンライン授業への参加が可能な状態を用意してください。				
オフィス・アワー	随時、Web Classを用いて質問を受け付けます。							
授業計画								
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	前田 博子	本時の進め方 性に対する偏見，差別感について			シラバスによる予習・講義内容の復習（1時間）			
2	〃	性の多様性とあいまいさ			課題による予習・講義内容の復習（1時間）			
3	〃	女性の「権利獲得」について ウーマンズリブ，フェミニズム，#me too			課題による予習・講義内容の復習（1時間）			
4	〃	女性の社会進出を支える法整備			課題による予習・講義内容の復習（1時間）			
5	〃	ハラスメントとジェンダー			課題による予習・講義内容の復習（1時間）			
6	〃	体育授業における性の扱い 性別の授業形態，男女共修授業のねらい			課題による予習・講義内容の復習（1時間）			
7	〃	性別文化としてのスポーツの課題			課題による予習・講義内容の復習（1時間）			
8	〃	競技参加を拒まれる選手について 学期末試験			課題による準備（1時間）			

授業科目名 (ナンバリングコード)	歴史学 (112A0-1303)		授業形態	講義		授業科目区分		一般科目 (社会・文化・自然科学目)	
担当教員名	山田 理恵・山本 一生					補助担当者名			
単位数	1 単位		履修年次	2年次		受け入れ人数		50名程度	
授業の概要	本授業では、歴史的事実に対する考え方や解釈のしかたを理解し、日本の歴史を、特に近代以降の日本の対外政策に焦点をあてて考察することを通して、国際関係のなかでの日本の歴史的位置づけや日本の文化に対する理解を深め、現代がかかえる諸問題を検討し国際平和の在り方を考える。 それらによって、歴史学の考え方やとらえ方を修得するとともに、教養として必要な知識を身につけ、論理的に考え表現できる能力を身につけることが期待される。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法					
	D Pで 目指す 資質・ 能力	一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
	■認知的領域	歴史的事実に対する考え方や解釈のしかたを理解する。 史料批判および史料吟味について論じることができる。 現代社会がかかえる諸問題を分析し、国際平和の在り方を論じることができる。			○				70
	■情意的領域	授業に積極的に参加する。 課題に意欲的に取り組む。	○			○			30
□技能的領域									
成績評価の基準	毎授業時に実施する小レポート、授業に対する積極的な取り組み方等を総合的に評価する。								
テキスト、教材 参 考 書	参考書は適宜紹介する。また必要に応じて資料を配付する。								
履修条件・ 関連科目	特になし。			備考(教員メッセージ含む)		特になし。			
オフィス・アワー	随時（山田：7 0 5研究室） ただし、事前にアポイントを取ること								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	山田 理恵	「歴史」に親しむ―激動の2 0 世紀を振り返りながら―				参考書等の予習および復習（30分以上）			
2	〃	「歴史」とは何か				参考書等の予習および復習（30分以上）			
3	山本 一生	歴史的事実と史料				参考書・資料等の予習および復習（30分以上）			
4	〃	「日本国」と「日本人」の誕生				参考書・資料等の復習および予習（30分以上）			
5	〃	近代日本の対外政策①				参考書・資料等の復習および予習（30分以上）			
6	〃	近代日本の対外政策②				参考書・資料等の復習および予習（30分以上）			
7	山田 理恵	戦争と国際平和				参考書等の予習および復習（30分以上）			
8	〃	オリンピックと日本				参考書等の予習および復習、まとめ（40分以上）			

授業科目名 (ナンバリングコード)	社会学 (112A0-1304)		授業形態	講義	授業科目区分	一般科目 (社会・文化・自然科学)			
担当教員名	北村 尚浩・日下 知明				補助担当者名				
単位数	1 単位		履修年次	2年次		受け入れ人数	100名程度		
授業の概要	(前半) 社会の基礎となる集団に関する複数のトピックを取り上げ、グループディスカッションを中心に現代社会における課題を理解する。 (後半) 若者論を中心に、メディア、人間関係、労働等のトピックを取り上げ、それらについて社会学的な視点から考える。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法					
	D Pで 目指す 資質・ 能力	一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
	■認知的領域	(前半)家族、組織、貧困、メディアなどの社会の問題について、現代社会における課題を理解する。 (後半)若者論を中心に、メディア、人間関係、労働等の身近なトピックについて、社会学的な視点から解釈することができる。			○				70
	■情意的領域	授業に積極的に参加する。 課題に意欲的に取り組む 社会問題と社会学的視点に興味・関心を持つ。	○						30
	□技能的領域								
成績評価の基準	授業時間内に随時実施するレポートと授業に対する積極的な取り組み方等を総合的に評価する。								
テキスト、教材 参 考 書	参考書は適宜紹介する。また必要に応じて資料を配付する。								
履修条件・ 関連科目	人権論、ジェンダー論（履修しておくことが望ましい。）			備考(教員メッセージ含む)	情報端末を必携すること。対面授業において、質疑を行う場面で使用する。				
オフィス・アワー	随時（北村：６１０研究室 日下：６０７研究室）								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	北村 尚浩	家族			シラバスによる準備（１時間）講義内容の復習（１時間）				
2	〃	組織			課題による準備（１時間）講義内容の復習（１時間）				
3	〃	貧困			課題による準備（１時間）講義内容の復習（１時間）				
4	〃	メディア			課題による準備（１時間）講義内容の復習（１時間）				
5	日下 知明	現代社会と若者			授業内容の復習（１時間）				
6	〃	若者と労働			授業内容の復習（１時間）				
7	〃	若者とメディア			授業内容の復習（１時間）				
8	〃	若者の人間関係			授業内容の復習（１時間）				

授業科目名 (ナンバリングコード)	日本国憲法 (112A0-1305)		授業形態	講義	授業科目区分		一般科目 (社会・文化・自然科学目)						
担当教員名	森 克己					補助担当者名							
単位数	2 単位		履修年次	1年次		受け入れ人数		200名程度					
授業の概要	日本国憲法の主要原則を概説するとともに、基本的な憲法問題・判例の解説を行うことによって、学生が憲法と現実社会との関わりを考える上での視座並びに法学の基礎知識を身につけることができるようにすることを目標とする。 また、教員・公務員試験等の日本国憲法に関する試験問題の解き方も身につけることができるようになることも期待される。												
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法									
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %				
			授業	テスト	レポート	発表							
		■認知的領域	憲法と現実社会との関わりを考える視座を身に付ける。 憲法の基本原理・判例について説明できる。								○		90
		■情意的領域	授業に積極的に参加し、復習問題に取り組む。	○						○			10
□技能的領域													
成績評価の基準	学期末試験の成績、毎回の授業時に課される復習問題（レポート）への取り組みを総合的に評価する。												
テキスト、教材 参 考 書	購入すべきテキスト：森克己ほか著『基礎からわかる憲法』（第3版）（嵯峨野書院） 参考書：芦部信喜『憲法』（第5版、岩波書店）、伊藤正己『憲法入門』3024円[税込み]（第4版補訂版）												
履修条件・ 関連科目	人権論を履修することが望ましい。			備考(教員メッセージ含む)		特になし。							
オフィス・アワー	森：水曜日、木曜日の午後（5 0 8 研究室）												
授業計画													
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)							
1	森 克己	オリエンテーション：学習の目的、内容、方法、評価のしかた				履修要項・シラバスの予習（10分以上）							
2	〃	憲法とは何か				テキスト・資料の予習・復習（30分以上）							
3	〃	現代憲法の特徴				テキスト・資料の予習・復習（30分以上）							
4	〃	明治憲法				テキスト・資料の予習・復習（30分以上）							
5	〃	日本国憲法の成立				テキスト・資料の予習・復習（30分以上）							
6	〃	日本国憲法の構成				テキスト・資料の予習・復習（30分以上）							
7	〃	国民主権				テキスト・資料の予習・復習（30分以上）							
8	〃	民主主義				テキスト・資料の予習・復習（30分以上）							
9	〃	象徴天皇制①				テキスト・資料の予習・復習（30分以上）							
10	〃	象徴天皇制②				テキスト・資料の予習・復習（30分以上）							
11	〃	基本的人権（総論①）				テキスト・資料の予習・復習（30分以上）							
12	〃	基本的人権（総論②）				テキスト・資料の予習・復習（30分以上）							
13	〃	基本的人権の分類・主体				テキスト・資料の予習・復習（30分以上）							
14	〃	基本的人権の限界				テキスト・資料の予習・復習（30分以上）							
15	〃	平和主義				テキスト・資料の予習・復習（30分以上）							
16	〃	学期末試験											

授業科目名 (ナンバリングコード)	日本文化論 (112A0-1306)		授業形態	講義	授業科目区分	一般科目 (社会・文化・自然科学)			
担当教員名	中村 勇				補助担当者名				
単位数	2 単位		履修年次	1年次	受け入れ人数	100名程度			
授業の概要	日本とは何か。日本人とは何か。日本文化とは何か。このような問いは古からさまざまに論じられてきたが、近年のグローバリゼーションの進展のなかで、その傾向はさらに高まり多岐にわたってきている。 本講義では、「日本文化」の基礎事項についてより深い理解を得られるように、前半は精神性、宗教、生活、芸術、クールジャパンなど様々な視点から、後半は日本の身体運動文化である伝統武術や現代武道にテーマを絞り、講義、ディスカッション、ビデオ視聴、プレゼンテーション等により授業を展開する。 本講義を通じて、受講者は日本文化に関する幅広い教養を身に付け、「日本文化とは何か」を発信できることを期待する								
授業の到達目標 及び成績評価の方法	授業の到達目標			成績評価の方法					
	D P で 目指す 資質・ 能力	一般教養・倫理 (専門的な知識・教養、教養力、倫理的思考力)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
	■認知的領域	学生が各テーマについて、基礎的知識を理解し、それを説明することができるようになる。	○		○			40	
	■情意的領域	学生が各テーマについて、基礎的知識を理解した上で、客観的視点から考察することができるようになる。	○		○			30	
	■技能的領域	学生が各テーマについて、自分の意見を指示された方法で適切に表現することができるようになる。	○		○			30	
成績評価の基準	授業への積極的参加姿勢およびレポートで総合的に評価する。 欠席1／3回以上は評価の対象としない								
テキスト、教材 参 考 書	テキストは使用しない。必要に応じて資料を配付する。								
履修条件・ 関連科目	特になし。		備考(教員メッセージ含む)	アクティブ・ラーニングが多い集中授業です。日本文化に興味を持ち授業へ積極的に参加できる人を歓迎します。					
オフィス・アワー	中村：平日午後12:00－14:00、ただしWebClassメール等で連絡の上調整可能。(503教員室)								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	中村 勇	日本の風土と文化			復習として、授業内で指示した参考資料の熟読（30分程度）				
2	〃	日本の宗教・伝統行事・祭			復習として、授業内で指示した参考資料の熟読（30分程度）				
3	〃	日本の食文化・茶道			復習として、授業内で指示した参考資料の熟読（30分程度）				
4	〃	日本の芸術文化			復習として、授業内で指示した参考資料の熟読（30分程度）				
5	〃	日本の新しい文化			復習として、授業内で指示した参考資料の熟読（30分程度）				
6	〃	日本の伝統と習慣			復習として、授業内で指示した参考資料の熟読（30分程度）				
7	〃	日本の精神文化			復習として、授業内で指示した参考資料の熟読（30分程度）				
8	〃	日本のスポーツ文化			復習として、授業内で指示した参考資料の熟読（30分程度）				
9	〃	日本の伝統武芸（1）			復習として、授業内で指示した参考資料の熟読（30分程度）				
10	〃	日本の伝統武芸（2）			復習として、授業内で指示した参考資料の熟読（30分程度）				
11	〃	武道文化（1）			復習として、授業内で指示した参考資料の熟読（30分程度）				
12	〃	武道文化（2）			復習として、授業内で指示した参考資料の熟読（30分程度）				
13	〃	日本文化のこれから（1）			予習として、前回までの授業内容を見直しておく（30分程度）				
14	〃	日本文化のこれから（2）			予習として、前回までの授業内容を見直しておく（30分程度）				
15	〃	日本文化のこれから（3）			最終課題を完成させる（60分程度）				

授業科目名 (ナンバリングコード)	異文化理解 (112A0-2307)		授業形態	演習	授業科目区分		一般科目 (社会・文化・自然科学目)			
担当教員名	国重 徹・竹中 健太郎・吉重 美紀・エルメス デイビット・坂中 美郷				補助担当者名		なし			
単位数	2 単位		履修年次	3年次		受け入れ人数		15名程度		
授業の概要	一人の人間として異文化と向き合い、平和・人権・環境など人類共通の問題解決に参加できる資質を身につけられるよう、異文化コミュニケーションの基礎知識を習得する。さらに、留学生などいろいろな文化背景の人々とコミュニケーションしていく上で手助けとなることを期待して、多様な感じ方、考え方、表現方法を体験学習的な活動を通して学生自身も体験する。なお、講師の都合で授業予定の順番が変更になることもあり得る。また、新型コロナウイルスの感染状況により、対面授業が難しいと判断した場合は、オンラインによる遠隔授業とする。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	異文化コミュニケーションにおける非言語と言語の抱える問題点や価値観と態度の多様性を理解する。	○						30
		■情意的領域	多様な感じ方、考え方、表現方法を体験することで、異文化コミュニケーションにおける学生の気づきを促す。	○		○	○			30
■技能的領域	コミュニケーションにおける多様な行動の解釈の幅を広め、異文化背景を持った人々とのコミュニケーションを継続できる。	○		○	○			40		
成績評価の基準	レポート提出、授業中の発表、アクティビティ、ディスカッションなど総合的に評価する。									
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：各担当教員が準備します。 参考書：『多文化社会で多様性を考えるワークブック』（有田佳代子他編著、研究社、2018） 『異文化コミュニケーション―グローバル・マインドとローカル・アフェクト』（八島智子／久保田真弓 著、松柏社、2012） 『はじめて学ぶ異文化コミュニケーション―多文化共生と平和構築に向けて』（石井敏、久米昭元、長谷川典子、桜木俊行、石黒武人著、有斐閣、2013）									
履修条件・ 関連科目	履修条件：特に条件はないが、トビタテ留学Japanによる海外派遣や交流協定校など海外への留学、および海外青年協力隊やJICAなど海外での就職を希望する学生および外国人留学生には、特に受講を勧めたい。 関連科目：総合英語Ⅰ～Ⅶ		備考(教員メッセージ含む)		辞書は毎回持参すること。実習等で欠席の場合、事前に欠席届けを提出のこと。					
オフィス・アワー	吉重：木曜日昼休み及び放課後、国重：木曜日昼休み及び12:40～13:00、エルメス：水曜日15:00～16:00、									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	吉重 美紀	Introduction, 事前アンケート、ボーダレス社会、文化とは？				資料の精読とレポート(1.5時間)				
2	〃	Verbal communication & Non-verbal communication, コミュニケーション3つのモデル				WebClassの資料を読む+レポート（1.5時間）				
3	〃	Space and Distance 接触行動、ボディバブル				Web Classの資料を読む+レポート（1.5時間）				
4	〃	Gender and Communication Style 男女のコミュニケーションスタイル、日本語における男女差				第1～4回レポート提出（2時間）				
5	エルメス デイビット	Culture and Communication Style				Review and Report (1時間)				
6	〃	Cultural Values				Review and Report (1時間)				
7	〃	Barriers to Communication: Discrimination				Review and Report (1時間)				
8	〃	Barriers to Communication: Individual Differences				Review and Report; レポート提出（2時間）				
9	坂中 美郷	私の異文化体験				レポート作成（1時間）				
10	竹中 健太郎	私の異文化体験				レポート作成（1時間）				
11	国重 徹	異文化での生活で気づいたこと～日本では当たり前のことが海外では・・・				レポート作成（1時間）				
12	〃	異文化理解について考える①（イントロ、ステレオタイプの危険性について：グループワーク&ディスカッション）				レポート作成（1時間）				
13	〃	異文化理解について考える②（ステレオタイプの危険性について：宗教についてその他：グループワーク&ディスカッション）				レポート作成（1時間）				
14	〃	異文化理解について考える③（海外の人から見た日本について：グループワーク&ディスカッション）				レポート作成（1時間）				
15	〃	異文化での生活で学んだこと～ハワイ滞在[大罪!?]記～ まとめと振り返り：異文化理解の授業で学んだこと				レポート作成（1時間）				

授業科目名 (ナンバリングコード)	生物化学論 (112A0-1308)		授業形態	講義	授業科目区分		一般科目 (社会・文化・自然科学目)					
担当教員名	吉田 剛一郎				補助担当者名							
単位数	2 単位		履修年次	4年次		受け入れ人数		10名程度				
授業の概要	生命がなりたっているしくみを化学的に理解する。生体がどのような物質からなりたっているか、それらの物質がどのようにつくられてこわされるのか、またそれらの物質が生体内でどのようなはたらきをもつのかを示す。生化学・栄養学・生理学など自然科学系分野の教養を身に付ける科目であるが、難易度は比較的高いため、大学院進学者等向けレベルの授業である。											
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法								
	D Pで 目指す 資質・ 能力	一般教養・倫理、科学的表現力 (課題解決力、科学的支援力、専門的な知識・教養)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %			
			授業	テスト	レポート	発表						
		■認知的領域	1．生体を構成する物質、2．生体内の物質代謝、3．遺伝情報とその発現、の3部に分けて系統的に理解することができる。			○						70
		■情意的領域	適切な受講姿勢を保ち、積極的に作業課題に取り組むことができる。	○								30
□技能的領域												
成績評価の基準	認知的領域（レポート）：情意的領域（授業）＝70：30の比率で評価する。											
テキスト、教材 参 考 書	・講義テキスト（授業時に配付する）											
履修条件・ 関連科目	運動生化学・スポーツ栄養学・運動生理学・解剖生理学			備考(教員メッセージ含む)		自然科学系分野の基礎科目であるが、難易度は比較的高いため、大学院進学者等向けレベルの授業である。						
オフィス・アワー	随時 307研究室											
授業計画												
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)						
1	吉田 剛一郎	生物化学を学ぶための基礎知識（細胞の構造とはたらきなど）				テキストの生物化学を学ぶための基礎知識を復習する。（1時間）						
2	〃	糖質（グルコース・グリコーゲンなど）				テキストの糖質を復習する。（1時間）						
3	〃	脂質（脂肪・コレステロールなど）				テキストの脂質を復習する。（1時間）						
4	〃	タンパク質（アミノ酸・各種タンパク質）				テキストのタンパク質を復習する。（1時間）						
5	〃	核酸（DNA・RNA）				テキストの核酸を復習する。（1時間）						
6	〃	水（水分の出納・酸塩基平衡）				テキストの水を復習する。（1時間）						
7	〃	無機質（カルシウム・ナトリウムなど）				テキストの無機質を復習する。（1時間）						
8	〃	血液と尿（血漿と血球・尿の生成）				テキストの血液と尿を復習する。（1時間）						
9	〃	ホルモンと生理活性物質（血糖、血圧、食欲等の調節）				テキストのホルモンと生理活性物質を復習する。（1時間）						
10	〃	酵素（触媒作用と逸脱酵素）				テキストの酵素を復習する。（1時間）						
11	〃	ビタミンと補酵素（生理作用と欠乏症）				テキストのビタミンと補酵素を復習する。（1時間）						
12	〃	糖質代謝（解糖系・クエン酸回路など）				テキストの糖質代謝を復習する。（1時間）						
13	〃	脂質代謝（カルニチンとβ酸化）				テキストの脂質代謝を復習する。（1時間）						
14	〃	タンパク質代謝（アミノ酸の利用・尿素回路）				テキストのタンパク質代謝を復習する。（1時間）						
15	〃	遺伝情報（遺伝子のはたらきとタンパク質合成）				テキストの遺伝情報を復習する。（1時間）						

授業科目名 (ナンバリングコード)	身体科学論 (112A0-1309)			授業形態	講義	授業科目区分		一般科目 (社会・文化・自然科学)		
担当教員名	與谷 謙吾・中垣内 真樹・田巻 弘之・藤田 英二・堀内 雅弘・廣津 匡隆・吉田 剛一郎・高井 洋平・モハモド モニルル イスラム・沼尾 成晴・赤澤 暢彦・成田 健造・宮崎 輝光・石澤 里枝					補助担当者名				
単位数	2 単位			履修年次	1年次		受け入れ人数	100名程度		
授業の概要	将来、身体に接する機会が多いであろう体育大学の学生にとって、身体科学の知識とともに、身体諸機能について科学的に考察できる能力が必要不可欠となる。本授業では、スポーツ生命科学系に属する各教員が、スポーツ科学領域、健康科学領域の観点から、各教員の研究成果を交えながら、身近なスポーツや身体活動と絡めて概説する。これにより、ヒトの身体の仕組みや諸機能に関する知的好奇心を惹起させ、競技力向上ならびに健康増進に役立つ科学的エビデンスに基づいた基礎的知識を習得することが期待できる。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標				成績評価の方法					
	D P で 目指す 資質・ 能力	一般教養・倫理 (専門的な知識・教養)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	ヒトの身体諸機能について科学的に理解できる。 身体諸機能について論理的に考察することができる			○				70
		■情意的領域	講義中にマナーを守れているかどうか。	○						30
□技能的領域										
成績評価の基準	毎回のレポートおよび授業に取り組む姿勢・提出物から総合的に評価し、60点以上で合格とする。詳しくは1回目の授業で説明する。									
テキスト、教材 参 考 書	必要に応じて資料を配布する。									
履修条件・ 関連科目	特になし。			備考(教員メッセージ含む)		特になし。				
オフィス・アワー	基本的に質問は随時可能ですが、質問したい教員にあらかじめメールで連絡をし、アポイントメントを取ってください。									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	與谷 謙吾	オリエンテーション				授業の進め方、成績評価等				
2	〃	筋電図を用いた反応時間評価の事例				レポート作成 (1 時間)				
3	モハモド モニルル イスラム	介護予防のために必要な体力について				レポート作成 (1 時間)				
4	藤田 英二	いろいろな対象者に対する運動の処方				レポート作成 (1 時間)				
5	廣津 匡隆	膝のスポーツ障害 (前十字靱帯損傷の病態と治療)				レポート作成 (1 時間)				
6	田巻 弘之	低強度トレーニングと電気刺激				レポート作成 (1 時間)				
7	吉田 剛一郎	身体と疲労				レポート作成 (1 時間)				
8	沼尾 成晴	生活習慣病予防に向けた運動処方				レポート作成 (1 時間)				
9	高井 洋平	アスリートにおけるトレーニング科学				レポート作成 (1 時間)				
10	堀内 雅弘	運動時のエネルギー供給機構				レポート作成 (1 時間)				
11	成田 健造	水泳の科学				レポート作成 (1 時間)				
12	宮崎 輝光	バイオメカニクスを用いたスポーツ動作の分析				レポート作成 (1 時間)				
13	赤澤 暢彦	運動による身体の調節と適応				レポート作成 (1 時間)				
14	石澤 里枝	持久力向上のための栄養				レポート作成 (1 時間)				
15	中垣内 真樹	中高齢者に対する運動の効果について～健康づくり・介護予防の観点から～				レポート作成 (1 時間)				

授業科目名 (ナンバリングコード)	環境論 (112A0-1310)		授業形態	講義		授業科目区分		一般科目 (社会・文化・自然科学)			
担当教員名	モハモド モニルル イスラム					補助担当者名					
単位数	2 単位			履修年次	3年次		受け入れ人数	50名程度			
授業の概要	環境は、人類の周囲に存在する有形無形のものであり、それらがわれわれ人類に直接的あるいは間接的に何らかの影響を及ぼす状況を知ることが、自らの健康の保持増進に繋がると期待される。そのためには、環境の分類をはじめ、環境が生命に及ぼす影響およびその機序を知ることが重要であり、それらが本授業の主目的である。										
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標				成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	一般教養・倫理、科学的支援力、科学的表現力	授業期間				定期 試験	その他	割合 %		
			授業	テスト	レポート	発表					
			■認知的領域	環境と健康へ及ぼす影響（間接的・直接的）とその機序、 人類の生活活動による汚染・汚濁、生活環境基準、 産業廃棄物、医療廃棄物などとの関係を理解する	○		○				70
			■情意的領域	環境を簡潔明瞭に分類することができる	○		○				15
■技能的領域	環境が人類に及ぼす負の影響について考える	○		○				15			
成績評価の基準	学期末レポートによる総合評価し、60点以上のものを合格とする。										
テキスト、教材 参 考 書	衛生学: 健康な環境づくりを支援する (はじめて学ぶ健康・スポーツ科学シリーズ) (日本語) 単行本 by 奥野 久美子 (著), 坂手 誠治 (著), 久保 博子 (著), 近藤 雄二 (編集) (2014年9月出版又は最新版) [2,800円]。あとは毎回授業前Web-Class上に資料を配布する。										
履修条件・ 関連科目	衛生学・公衆衛生学			備考(教員メッセージ含む)		特になし。					
オフィス・アワー	教員研究室509号（内線: 4962）にて随時（但し、事前に申し出ること）										
授業計画											
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)					
1	モハモド モニルル イスラム	オリエンテーション（環境論の概論）及び今後の予定について				次回以降の予定の確認（30分）					
2	〃	環境生理心理学の基礎				左記の予習と配布資料の復習（60分）					
3	〃	学校体育・スポーツ現場の環境、安全と健康				左記の予習と配布資料の復習（60分）					
4	〃	運動・スポーツの環境、安全と健康				左記の予習と配布資料の復習（60分）					
5	〃	住環境、生活の環境と安全・健康				左記の予習と配布資料の復習（60分）					
6	〃	働く環境、労働安全衛生				左記の予習と配布資料の復習（60分）					
7	〃	休息としての睡眠環境				左記の予習と配布資料の復習（60分）					
8	〃	加齢を考慮した環境づくり				左記の予習と配布資料の復習（60分）					
9	〃	心を考慮した環境づくりと個人技術、ストレスマネジメント等				左記の予習と配布資料の復習（60分）					
10	〃	放射線・電磁波と健康				左記の予習と配布資料の復習（60分）					
11	〃	人類の生活活動（家庭廃棄物、医療廃棄物、産業廃棄物等）による水質汚濁				左記の予習と配布資料の復習（60分）					
12	〃	廃棄物（家庭廃棄物、医療廃棄物、産業廃棄物等）管理				左記の予習と配布資料の復習（60分）					
13	〃	電気・ガスの省エネルギー対策技術と適用、 および暮らし方・住宅づくりと水分野での地球温暖化防止				左記の予習と配布資料の復習（60分）					
14	〃	自動車リサイクル法と産業、Polychlorinated Biphenyl（PCB）対策と産業				左記の予習と配布資料の復習（60分）					
15	〃	自然的環境（生物学的、化学的、物理学的）				左記の予習と配布資料の復習（60分）					

授業科目名 (ナンバリングコード)	社会に出るための経済学 (112A0-1311)		授業形態	講義	授業科目区分	一般科目 (社会・文化・自然科目)							
担当教員名	中嶋 則夫				補助担当者名								
単位数	2 単位		履修年次	3		受け入れ人数	—						
授業の概要	我々は、個々人の（能力）に応じて様々な（教育）を受け、就職して社会人となり様々な役割を社会で果たして暮らしています。社会には様々な（財・サービス）を（生産）する（職業）があり、暮らしを豊かにするために欠かせない、多様な財・サービスが、（分業）によって（効率的）に生産され、それらを（市場）で（貨幣）と（交換）して暮らしています。このような社会を（市場社会）と呼び、そこで、豊かな暮らしを実現するためには、労働を貨幣と交換して受取る（所得）が必要で、就職とは、そのための手段となります。豊かに暮らすためには、（労働）時間以外の（余暇）時間も大変重要になります。短い労働時間で効率的に財・サービスを生産し、余暇時間を増やせば、（スポーツ）、（文化芸術）に関係する活動を充実させることも可能となります。本講義では、市場を活用する経済で、分業と効率的な財・サービス生産に加え、それらがどのように人々の手に渡り、その（配分状態）を（価格）と（数量）の関係から、（経済学者らしく考える）姿勢で、評価を行います。また、豊かな暮らしに必要なが、市場での取引が上手く機能しない財・サービスの存在と、（政府）との関連を（財政）も含め説明します。これらの活動を集計した経済全体の規模を表す（国内総生産）という指標が、暮らしの豊かさを知る手段となることを、様々な財・サービスの取引の結果決まる諸価格を総合的に測定した（物価）で、（名目）と（実質）を区別し、物価と国内総生産との関係について説明を行います。続いて、経済全体の規模が実質的に（成長）するために必要となる（生産性を構成する四要素）を示し、その充実に必要な（政策）の視点を挙げ、その中でも（金融システム）下で（貨幣システム）を通じてなされる（貯蓄）と（投資）の重要性を（利子率）を軸に、説明し、（純輸出）や（純資本流出）の考え方を含め、経済全体の活動規模と物価の関係を（総需要）、（総供給）の観点から解説します。このようになされた議論は、経済全体のパフォーマンスがどのようになるかを理解するために役立つが、それに加え、これらの情報を、われわれが受け取る所得（Y）のうち消費（C）に使わない貯蓄（S）の運用先情報として活用できることも説明します。												
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法									
	D Pで 目指す 資質・ 能力	一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %				
			授業	テスト	レポート	発表							
		■認知的領域	経済学の専門用語の概念を理解する。専門用語を適切に使い重要な変数間の関係性を論理的に理解する。変数間の関係性を用いて望ましい状態を実現するための意見を述べる。	○		○					○		40
		■情意的領域	質問に対して、獲得した知識を正確に用い、説得的に口頭で回答する。							○			30
■技能的領域	各テーマ振り返りレポート作成を適切な引用方法を用いて行う。6つの期末課題への回答を各200文字程度に要約する。	○		○				30					
成績評価の基準	定期試験60%、期末課題25%、振り返りレポート（5回程度）15%の合計点で評価します。												
テキスト、教材 参 考 書	マンキュー、N、グレゴリー/足立他訳『マンキュー入門経済学（最新版）』東洋経済新報社												
履修条件・ 関連科目	倫理・哲学、歴史学、社会学、日本国憲法などの科目の多くを履修していることが望ましい。			備考(教員メッセージ含む)	本授業は、授業時間以外に、15週間で60時間の自主学習時間が必要となる内容となっています。従って、指示したテキスト部分と資料に関する予習・復習に週約4時間程度行ってください。								
オフィス・アワー	授業の前後に対応する。												
授業計画													
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)							
1	中嶋 則夫	1経済学の十大原理 先ず、個人の意思決定がインセンティブの影響を受けることを、トレードオフ、機会費用、限界的な部分で考える、という諸要素との関係から理解する。そのように選択する個人が集まる経済で、相互に影響し合いながら財・サービスが生産され、それらが分配に至る過程で生まれる環境に評価を与え、豊かさの源泉である生産能力、取引等に使われる貨幣量が財・サービスの諸価格を通して物価に影響を与え、その物価の変動が失業とどう関係するかについて概観する。				教科書の該当箇所を授業内容の視点から予習し、授業後は、指示される課題とともに復習すること。（2時間）							
2	〃	2経済学者らしく考える 科学者としての経済学者の視点で、身の回りに生じる現象を実証的に理解するための科学的方法を、事例を用いて説明する。身の回りに生じる現象を、倫理・宗教・政治哲学などの価値観に基づき規範的に評価し、良い状態を生み出す良い政策とする主張が人びとの間で一致しない原因と実証的主張が意見対立の緩和に重要な役割を果たすことを説明する。				教科書の該当箇所を授業内容の視点から予習し、授業後は、指示される課題とともに復習すること。（2時間）							
3	〃	3相互依存と交易からの利益 絶対優位と比較優位の考え方を理解し、絶対優位の人々が絶対劣位の人々と分業することが生産性の向上に寄与する点を説明し、直感で誤った判断をしがちなわれわれの特性を理解するとともに、直感で辿り着けない論証の必要な知識の存在を確認する。その際、科学的方法に基づく理論をモデル化した生産可能性フロンティアも活用し、視覚的に分業の効果を確認する。				教科書の該当箇所を授業内容の視点から予習し、授業後は、指示される課題とともに復習すること。（2時間）							
4	〃	4市場における需要と供給の作用 経済学の中核である、需要と供給の作用をモデル化し、人々の意思決定過程が、市場の生産と分配が生み出す状態にどのような影響を及ぼすかを議論する。人々が自由に活動した結果である均衡価格、均衡数量が生み出す状況が、それらに人為的作用が与えられた状況よりもより良い状況となる点を、説明する。				教科書の該当箇所を授業内容の視点から予習し、授業後は、指示される課題とともに復習すること。（2時間）							

5	〃	5需要、供給、および政府の政策_付論弾力性 政府の様々な政策が、実証的な分析を経て、政策立案者の意図していない効果をもたらすことを説明する。また、税の負担が、経済学的主要因で生じる点についても解説を加える。	教科書の該当箇所を授業内容の視点から予習し、授業後は、指示される課題とともに復習すること。(2時間)
6	〃	6消費者、生産者、市場の効率性_付論税と効率・公平 支払許容額で測る消費者余剰と受取許容額で測る生産者余剰という新たな概念を用いて、市場を用いることの有効性を確認する。また、政府の政策実行の原資となる税の負担配分の考え方を整理し、税負担の効率と公平について考える。	教科書の該当箇所を授業内容の視点から予習し、授業後は、指示される課題とともに復習すること。(2時間)
7	〃	7外部性 売り手と買い手の意思決定によって価格と数量の関係が決まるが、それに関わらない人々に与える影響を外部性と呼び、それがあある場合、均衡点で生まれる環境が必ずしも望ましい状況ではない点を確認し、その解決に向けたいくつかの方法を解説する。	教科書の該当箇所を授業内容の視点から予習し、授業後は、指示される課題とともに復習すること。(2時間)
8	〃	8国民所得の測定 われわれの受け取る所得の総計がどのように生産され、分配され、支出されるのかという、国全体の視点で、議論を深める。その際、これらの総計は、価格と数量の関係から算出されるため、単に価格のみが変化した場合、数量のみが変化した場合、どちらも変化した場合で、その大きさの意味合いが異なるため、それらを区別する方法とその考え方について説明し、名目と実質の意味とその役割を理解する。	教科書の該当箇所を授業内容の視点から予習し、授業後は、指示される課題とともに復習すること。(2時間)
9	〃	9生計費の測定 われわれの暮らしに必要な財・サービスを獲得するために必要な所得とそれらの価格の変化を総合的に表す指標の考え方について学び、物価情報を持つ意味によって、どのような主張をする必要があるか、賃金率、利子率との関係から理解を深める。	教科書の該当箇所を授業内容の視点から予習し、授業後は、指示される課題とともに復習すること。(2時間)
10	〃	10生産と成長_付論失業 経済成長は、われわれの暮らしを豊かにする源泉となることを、生産性を決める要因との関係から、説明し、公的部門がそれらにどのように関わりながら政策を行えばいいのか、その考え方を紹介し、具体的な政策を考える際の土台を与える。	教科書の該当箇所を授業内容の視点から予習し、授業後は、指示される課題とともに復習すること。(2時間)
11	〃	11貯蓄、投資と金融システム_付論1貨幣システム・付論2貨幣の供給とインフレーションの古典派理論 金融システム下で、貨幣システムを通じてなされる、貸付資金市場における貯蓄と投資の関係の重要性を、利子率を軸に、説明し、貨幣数量と貨幣の価値の関係から長期の物価水準が決まるとする考え方を説明する。	教科書の該当箇所を授業内容の視点から予習し、授業後は、指示される課題とともに復習すること。(2時間)
12	〃	12総需要と総供給 経済における、消費、投資、政府支出、純輸出（輸出－輸入）が物価の影響を受けてどのように変化するかを検討し、それらを総需要として考え、モデル化する。また、それらの総需要に應えるために、労働を用いて生産を行うが、物価の影響を受ける短期とその影響が調整される長期に分けてモデル化し、総需要と総供給を同時に取り扱うことのできる手段を構築する。それを用いて、我々を取り巻く様々な環境変化が、暮らしに与える影響を財政、金融の面から改善する政策立案の基本的な考え方を理解し、社会の一員として適切にふるまう素養を身に付ける。	教科書の該当箇所を授業内容の視点から予習し、授業後は、指示される課題とともに復習すること。(2時間)
13	〃	13開放マクロ経済学：基本的概念 輸出（米資産からの支払い_最終的に\$→¥）と輸入（日本資産からの支払い_最終的に¥→\$）からなる純輸出と純資本流出から、利子率、外国為替相場の決定と財政政策、金融政策との関係を理解する。	教科書の該当箇所を授業内容の視点から予習し、授業後は、指示される課題とともに復習すること。(2時間)
14	〃	14ファイナンスの基本的な分析手法 現在価値の考えから、異なる時点での1万円の価値が異なることを知り、リスク管理では将来が不確実であるため、それから身を守る準備が重要であることを知り、資産評価では、株価が将来期待される収益を反映することを知る。	教科書の該当箇所を授業内容の視点から予習し、授業後は、指示される課題とともに復習すること。(2時間)
15	〃	15政策に必要な基礎的知識とフローの貯蓄、ストックの金融資産への活用を考える これまで蓄積した知識をベースに、外国為替市場、株式市場などの金融資産に関連する市場の変動が、政策に伴うマクロ経済指標と連動することが多いこと理解し、自らの資産選択の際の判断材料となることを知る。	教科書の該当箇所を授業内容の視点から予習し、授業後は、指示される課題とともに復習すること。(2時間)
16	〃	定期試験（3問から構成される）	期末課題6問（各200文字程度）中2問を定期試験問題とする。第3問は、事前に提示する。

授業科目名 (ナンバリングコード)	バイオメカニクスを学ぶための物理・数学 (112A0-1312)		授業形態	講義	授業科目区分		一般科目 (社会・文化・自然科学科目)			
担当教員名	永原 隆・成田 健造・宮崎 輝光				補助担当者名					
単位数	2 単位		履修年次	1年次		受け入れ人数	－			
授業の概要	スポーツバイオメカニクスは、身体運動を力学に基づいて観察する分野である。本科目の目標は、2年次配置されているスポーツバイオメカニクスを学ぶ際に求められる、力学や数学に関連する基礎知識を身につけることである。特に、線形代数や微積分の基礎的な話題を中心に扱う。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	一般教養・倫理 (専門的な知識・教養)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	スポーツバイオメカニクスを学ぶ際に求められる、力学や数学に関する基礎を理解する。		○			○		70
		□情意的領域								
■技能的領域	数式を含むスポーツバイオメカニクスに関する文章が読み書きできる技能を習得する。		○			○		30		
成績評価の基準	基本的に毎回出席をとる。出席が2/3以上の者について、試験の成績が60点を超えていることを合格の条件とする。合格者に対して、試験の成績、小テスト等を勘案して、総合的に評価する。									
テキスト、教材 参 考 書	必要に応じて授業時に資料配布 参考図書 スポーツバイオメカニクス (はじめて学ぶ健康・スポーツ科学シリーズ)、化学同人 スポーツバイオメカニクス 完全準拠 ワークブック、化学同人									
履修条件・ 関連科目	特になし。		備考(教員メッセージ含む)		授業内容が不明な点があった場合は、随時自習によって補うこと。					
オフィス・アワー	永原：随時 大学院棟3階 教員室1 成田：随時 研究棟8階 812教員研究室 宮崎：随時 研究棟4階 408教員研究室									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)					
1	成田 健造	オリエンテーション バイオメカニクスで扱う変数の単位、割合			授業内容の復習 (60分)					
2	〃	関数とグラフ			授業内容の復習 (60分)					
3	〃	グラフの傾きと面積			授業内容の復習 (60分)					
4	〃	位置、速度、加速度の関係 (1次元)			授業内容の復習 (60分)					
5	〃	テスト①			テスト範囲の復習 (60分)					
6	永原 隆	弧度法、三角関数、角速度の概念①			授業内容の復習 (60分)					
7	〃	弧度法、三角関数、角速度の概念②			授業内容の復習 (60分)					
8	〃	ベクトルの概念、ベクトルの和と差と定数倍			授業内容の復習 (60分)					
9	〃	ベクトルの大きさと分解			授業内容の復習 (60分)					
10	〃	テスト②			テスト範囲の復習 (60分)					
11	宮崎 輝光	数値微分と数値積分 (復習含む)			授業内容の復習 (60分)					
12	〃	様々な変数の変化率や変化量をとらえる (微積分の具体的な取り扱い)			授業内容の復習 (60分)					
13	〃	位置のベクトルとしての取り扱い (2次元の位置、速度、加速度の関係)			授業内容の復習 (60分)					
14	〃	累積和			授業内容の復習 (60分)					
15	〃	連立方程式の意味			授業内容の復習 (60分)					
16	〃	テスト③			テスト範囲の復習 (60分)					

授業科目名 (ナンバリングコード)	総合演習 A (113A0-2300)		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (総合科目)			
担当教員名	松村 勲・小森 大輔・栗山 靖弘・成田 健造					補助担当者名					
単位数	2 単位		履修年次	1		受け入れ人数		120名			
授業の概要	「総合演習A」では、大学で学ぶために必要なスキルと教養を身につけることを目指す。大学での学修には、「読む・調べる・聴く・書く・話す」ことの総合的な活用が必要になる。そのための基盤を形成し、大学での学びにスムーズに接続できるようにすることを目指した授業を行う。										
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法							
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理 (キャリアデザイン力、課題解決力)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %		
			授業	テスト	レポート	発表					
		■認知的領域	大学で必要とされるスキルや教養を身につけている。	○		○					30
		■情意的領域	他者の意見に耳を傾けて、コミュニケーションをとることができる。	○			○				30
		■技能的領域	情報を正確な読み取りや解釈、自分の意見の表現ができる。	○		○					40
成績評価の基準	授業での提出物、レポート、プレゼンテーションおよび話し合い等への参加を総合的に判断して評価する。										
テキスト、教材 参 考 書	筒井美紀(2014)『大学選びより100倍大切なこと』ジャパンマニシスト社 →初回の授業までに必ず購入しておくこと。										
履修条件・ 関連科目	キャリアデザインⅠ		備考(教員メッセージ含む)		大学では、自分に必要な科目を履修し、単位を習得していくことになる。また、個々の授業では1つの「正解」を見つけたり、答えや公式を「暗記」するのではなく、自分なりのものの見方や考え方を形成することが重要である。大学のこのような特性に鑑み、本科目が設定されている。受け身ではなく、積極的な参加を期待する。						
オフィス・アワー	松村：随時。事前にメールでアポをとること。 小森：随時。事前にメールでアポをとること。 栗山：随時。事前にメールでアポをとること。 成田：随時。事前にメールでアポをとること。										
授業計画											
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)					
1	松村 勲 小森 大輔 栗山 靖弘 成田 健造	オリエンテーション：人に何かを伝えるために				★指定されたテキスト（本）の購入が必要となります。					
2	〃	読む・聴く・わかる(テキスト第2章)				テキストの予習・復習(30分)					
3	〃	自力で問いを立て、自力で答えを出す(テキスト第1章)				テキストの予習・復習(30分)					
4	〃	「好きなことなら続けられる」のか？(テキスト第3章)				テキストの予習・復習(30分)					
5	〃	学ぶために必要な技術(テキスト第4章)				テキストの予習・復習(30分)					
6	〃	大学でのリテラシー(テキスト第5章)				テキストの予習・復習(30分)					
7	〃	大学での学び①				授業資料および内容の復習(30分)					
8	〃	大学での学び②				授業資料および内容の復習(30分)					
9	〃	時事・社会問題①				授業資料および内容の復習(30分)					
10	〃	時事・社会問題②				授業資料および内容の復習(30分)					
11	〃	時事・社会問題③				授業資料および内容の復習(30分)					
12	〃	時事・社会問題④				授業資料および内容の復習(30分)					
13	〃	プレゼンテーション①発表テーマの設定				授業資料および内容の復習(30分)					
14	〃	プレゼンテーション②準備				プレゼンテーションの準備(60分)					
15	〃	プレゼンテーション③全体での発表				授業全体の復習(60分)					

授業科目名 (ナンバリングコード)	総合演習 B (113A0-2301)		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (総合科目)					
担当教員名	森 克己					補助担当者名							
単位数	2 単位		履修年次	2年次		受け入れ人数		30名程度					
授業の概要	現在わが国が直面している少子・高齢化、国際化、情報化に関わる諸問題や学校におけるいじめや家庭における児童虐待、さらには環境問題など、解決すべき諸問題を考察することにより、受講生が総合的な視野や問題解決能力を身につけ、教員を目指す者としての資質を高めることを目標とする。また、将来教員となった際に「総合的な学習の時間」などにおいて生徒に対して授業を行う際の指導方法・内容の習得に資する効果も期待される。												
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法									
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理 (課題解決力)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %				
			授業	テスト	レポート	発表							
		■認知的領域	我が国が抱える社会問題の基礎知識を身に付ける。 我が国が抱える社会問題を考える視点を身に付ける。			○				○			90
		■情意的領域	授業に積極的に参加し、授業での発表・レポート作成に積極的に取り組む。	○		○							10
□技能的領域													
成績評価の基準	授業での発表内容、毎回の授業時に課されるレポートへの取組みを総合的に評価する。												
テキスト、教材 参 考 書	学生各自が担当するテーマについての図書・新聞・雑誌などの資料を検索・収集することを原則とするが、担当教員からも適宜各テーマについての関連資料を提供する。												
履修条件・ 関連科目	特になし。			備考(教員メッセージ含む)		特になし。							
オフィス・アワー	森：水曜日、木曜日の午後（5 0 8 研究室）												
授業計画													
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)							
1	森 克己	少子・高齢化と社会保障改革 (1) 総論：活力ある少子・高齢社会				履修要項・シラバスの予習（10分以上）							
2	〃	(2) 高齢者介護の現状と課題				配付資料の復習、授業での発表の準備（30分以上）							
3	〃	(3) 年金制度の現状と課題				配付資料の復習、授業での発表の準備（30分以上）							
4	〃	(4) 医療保険制度の現状と課題				配付資料の復習、授業での発表の準備（30分以上）							
5	〃	わが国財政の現状と行財政改革				配付資料の復習、授業での発表の準備（30分以上）							
6	〃	児童虐待への対応				配付資料の復習、授業での発表の準備（30分以上）							
7	〃	いじめ問題への対応				配付資料の復習、授業での発表の準備（30分以上）							
8	〃	体育・スポーツにおける指導者による体罰・虐待問題の現状と対策				配付資料の復習、授業での発表の準備（30分以上）							
9	〃	国際社会との共生				配付資料の復習、授業での発表の準備（30分以上）							
10	〃	環境問題 (1) ダイオキシン、環境ホルモン				配付資料の復習、授業での発表の準備（30分以上）							
11	〃	(2) ごみ問題と循環型社会				配付資料の復習、授業での発表の準備（30分以上）							
12	〃	(3) バイオハザード				配付資料の復習、授業での発表の準備（30分以上）							
13	〃	I T 革命				配付資料の復習、授業での発表の準備（30分以上）							
14	〃	現代若者の職業意識：ニート、格差社会				配付資料の復習、授業での発表の準備（30分以上）							
15	〃	まとめ											

授業科目名 (ナンバリングコード)	情報処理 A (113A0-2202)		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (総合科目)			
担当教員名	和田 智仁・迫田 和之					補助担当者名					
単位数	2 単位		履修年次	1年次		受け入れ人数		1 クラス60名以内			
授業の概要	コンピュータと通信ネットワークは現代社会に広く浸透し利用されている。学生生活においても情報の収集やレポート作成、各種手続きなどコンピュータと通信ネットワークの利用は欠かせない。また、デジタル社会の進展に対応するため、数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、これらを適切に理解し活用する基礎的な能力を育成しなければならない。 本授業では、個人のタブレットおよび情報処理演習室のパソコンを使用した演習を通じ、コンピュータと通信ネットワークに関する基本的な知識と利用方法、およびデータサイエンスの基礎を学ぶことを目的とする。また、情報倫理や大学の情報セキュリティポリシーについて理解し、それらに沿って行動できるようになることを目標とする。 本授業により、新入生が大学生活を送るうえで身につけておきたい情報技術と、それに関連する知識を習得できる。										
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法							
	D Pで 目指す 資質・ 能力	一般教養・倫理 (科学的表現力, 専門的な知識・教養)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %		
			授業	テスト	レポート	発表					
			■認知 的領域	コンピュータと通信ネットワークの基本的な仕組みと特性について理解する。 データサイエンス・AIの活用領域を知り、活用のための技術を理解する。	○	○	○		○		40
			■情意 的領域	情報通信技術の活用に関心を持ち、主体的に情報を収集し、利用できる。 情報セキュリティ保全に関して積極的に参加できる。	○		○				15
■技能 的領域	目的に応じてオフィスソフトウェア等のアプリケーションを利用できる。 各種データの分析を行うことができる。 情報セキュリティに配慮した機器やシステムの利用ができる。	○	○	○		○		45			
成績評価の基準	授業の際に提示される課題の実施状況(50%), 技能試験・期末試験(50%)によって評価を行う。 なお、本授業では10 分間で日本語の文章300 文字以上を入力できるタイプライティング能力の習得を必須とする。										
テキスト、教材 参 考 書	保本正芳, 基礎からはじめるデータサイエンス, noa出版。 ※この教科書は翌年の情報処理Bでも使用予定です										
履修条件・ 関連科目	教科書を持参すること。 指示に応じてノートパソコンまたはタブレットなどの情報機器を持参すること。			備考(教員メッセージ含む)		情報処理演習室の収容人数の都合により、演習の際は4クラスに分けて開講する。 詳細はWebClassに掲示するので、そちらを確認すること					
オフィス・アワー	和田：随時（メールで予約してください） 迫田：随時（メールで予約してください）										
授業計画											
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)					
1	和田 智仁 迫田 和之	授業ガイダンス、タブレットの各種設定とWebClassの利用				[授業前]タブレットの初期セットアップ（1時間） [授業後]情報処理演習室、タブレット、WebClassの利用方法の復習（1時間）					
2	〃	クラウドサービスの利用と多要素認証・情報セキュリティ				[授業前]多要素認証に関するビデオ視聴、クラウドサービスの調査(1時間) [授業後]クラウドサービスの設定と利用を行う(1.5時間)					
3	〃	社会で起きている変化・コンピュータ基礎(1)				[授業前]教科書Section 1の予習（1時間） [授業後]タイピング練習（1時間）					
4	〃	スポーツデータとアプリケーション（データ・AI活用の最新動向）				[授業前]スポーツ分野におけるデータ活用事例やアプリの調査を行う（1時間） [授業後]自身に関連するデータ活用事例やアプリの調査（1時間）					
5	〃	データ活用を知る・社会で活用されているデータ～表計算ソフトの導入～				[授業前]アプリの準備、教科書Section 2の予習（1時間） [授業後]Excel課題（1時間）					
6	〃	データ分析の基礎I・データの活用領域～表計算の基礎～				[授業前]教科書Section 3 Step2 Lesson1の予習（1時間） [授業後]授業内容の復習（1時間）					
7	〃	データ分析の基礎II・データ活用のための技術～データベース活用・ピボットテーブル～				[授業前]教科書Section 3 Step2 Lesson2,3の予習（1時間） [授業後]授業内容の復習（1時間）					
8	〃	データ分析の基礎III・データを守るうえでの留意事項～グラフ～				[授業前]教科書Section 3 Step2 Lesson4の予習（1時間） [授業後]授業内容の復習（1時間）					
9	〃	インターネットとメール（データ・AI活用における留意事項）				[授業前]指示された資料・ビデオの確認（1時間） [授業後]復習、メールの作法確認（1時間）					

10	〃	アカデミックライティング～文書作成ソフト導入～	[授業前]授業スライドによる予習（1時間） [授業後]授業内容の復習・レポート作成（1時間）
11	〃	コンディション記録とタブレットの活用・データ・AI活用の現場	[授業前]スポーツ分野におけるクラウドサービスやアプリの調査を行う（1時間） [授業後]タブレット用アプリを自身の競技活動に活用する方法を検討しレポートにまとめる（2時間）
12	〃	アカデミックライティングII～レポートをまとめる～	[授業前]授業資料を使ったの予習（1時間） [授業後]課題作成（1時間）
13	〃	データを表現する・プレゼンテーション基礎I	[授業前]教科書Section 5 Lesson 1,2の予習（1時間） [授業後]課題作成（1時間）
14	〃	データを表現する・プレゼンテーション基礎II	[授業前]オンラインプレゼンテーションの準備（1時間） [授業後]課題作成（1時間）
15	〃	総合演習（ワープロ・表計算連携，クラウド活用，データを守る上での留意事項）	[授業前]これまでの内容を全体的に復習する（1時間） [授業後]課題に取り組む（1時間）
16	〃	学期末試験	

授業科目名 (ナンバリングコード)	情報処理 B (113A0-2203)		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (総合科目)				
担当教員名	和田 智仁・迫田 和之					補助担当者名		迫田 和之				
単位数	2 単位		履修年次	2年次		受け入れ人数		1 クラス60名程度				
授業の概要	『情報処理A』で習得した知識・技能を発展させ、より実践的な情報処理能力と情報活用能力を習得し、数理・データサイエンス・AIへの関心を高めるとともに、これらを適切に活用する能力を高めることを目標とする。 授業では卒業研究に着手することを念頭に、資料の収集、統計処理の基礎やデータ解析のための計算技術、クラウドサービスの活用、タブレット活用、レポートや論文作成のための文書作成技術などについて解説するとともに、機器を使った演習を行う。特にデータ分析に関しては、実際のデータを用いた演習を行う。 本授業により、大学における学習・研究活動に必要なとなる技能を習得できるとともに、社会での活動に役立つ情報処理・情報活用能力を習得できる。											
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法								
	D P で 目指す 資質・ 能力	一般教養・倫理、科学的表現力 (科学的支援力、専門的な知識・教養)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %			
			授業	テスト	レポート	発表						
		■認知的領域	論文・レポートの目的や作成手法を理解し、説明できる。 研究資料の収集、整理方法について理解する。 コンピュータを使った演算方法を理解する。 クラウドサービスの特性や利用法を理解する。	○	○	○					○	50
		■情意的領域	探求心を持って情報の収集と整理に取り組む。 論理的思考を養い、課題解決に応用できる。	○								10
■技能的領域	データを計算、表示し、分析する能力を持つ。 オフィスソフトウェアの応用的な活用が可能になる。 レポートなどの長文を構成・作成するための技術を持つ。 クラウドサービスを利用できる。	○		○				40				
成績評価の基準	レポート(70%)と期末テスト(30%)の評価により情報活用能力を総合的に判断し、評価する。											
テキスト、教材 参 考 書	保本正芳, 基礎からはじめるデータサイエンス, noa出版.											
履修条件・ 関連科目	情報処理A を履修しておくこと			備考(教員メッセージ含む)								
オフィス・アワー	和田：随時（メールで予約してください） 迫田：随時（メールで予約してください）											
授業計画												
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)						
1	和田 智仁 迫田 和之	オリエンテーション（授業の進め方、クラウドサービスの設定と利用）。 データ分析復習（Section 3「顧客分析」）				[授業前]教科書Section 3「顧客分析」を確認する（1時間） [授業後]クラウドサービスの手順確認、顧客分析に用いた技術の復習（1時間）						
2	〃	グラフの表現（教科書38～48ページ）				[授業前]教科書Section 2 STEP2「データ活用のプロセス」予習（1時間） [授業後]授業内容の復習と演習課題の実施（1時間）						
3	〃	散布図・相関係数、回帰分析				[授業前]教科書Section 3 Lesson2「天気と売上の関係...」予習（1時間） [授業後]授業内容の復習と演習課題の実施（1時間）						
4	〃	標本調査、標準偏差と正規分布				[授業前]教科書Section 3 Lesson3「統計的思考で...」予習（1時間） [授業後]授業内容の復習と演習課題の実施（1時間）						
5	〃	質問調査の分析 ～スポーツ庁世論調査から～ ピボットテーブルの利用				[授業前]スポーツ庁の調査結果の確認（1時間） [授業後]課題に取り組む（1時間）						
6	〃	質問調査の分析II ～スポーツ庁世論調査から～ ピボットテーブルの結果から適切なグラフを作る				[授業前]ピボットテーブルを使った分析手法の復習（1時間） [授業後]課題に取り組む（1時間）						
7	〃	時系列データ分析I				[授業前]モーションキャプチャシステムについて授業スライドに基づいて調査する（1時間） [授業後]課題に取り組む（1時間）						
8	〃	時系列データ分析II				[授業前]資料に基づき位置情報からの速度・加速度の算出方法を確認する（1時間） [授業後]課題に取り組む（1時間）						
9	〃	時系列データ分析III				[授業前]資料に基づき位置情報からの角度・各速度の算出方法を確認する（1時間） [授業後]課題に取り組む（2時間）						

10	"	構造化された文書の作成I	[授業前]授業資料を使い予習を行う（1時間） [授業後]課題に取り組む（1時間）
11	"	構造化された文書の作成II	[授業前]体育学研究の論文を探し書式を確認する ．また投稿規定を確認する（1時間） [授業後]実際の論文を確認しながら授業内容を復習する（1時間）
12	"	スポーツとICT（AIの活用）	[授業前]競技スポーツにおけるICT・AIの活用状況を調査する（1時間） [授業後]ICT・AIについて自身の競技で利用できることを実践する（1時間）
13	"	成績データ処理（順位付け，偏差値の算出，個票の印刷）	[授業前]教科書98～99ページの確認，スライドの確認（1時間） [授業後]課題に取り組む（2時間）
14	"	プログラミングの基礎	[授業前] VBAとは何か，調査や試行を行う（2時間） [授業後] 課題に取り組む(2時間)
15	"	総合演習	[授業前]これまでの授業内容を振り返り，学修内容を整理する（1時間） [授業後]試験対策を行う（1時間）
16	"	学期末試験	

授業科目名 (ナンバリングコード)	情報処理 C (113B0-2200)		授業形態	演習	授業科目区分	一般科目 (総合科目)						
担当教員名	和田 智仁・迫田 和之				補助担当者名							
単位数	2 単位		履修年次	3		受け入れ人数	40					
授業の概要	本授業では、スポーツ科学研究におけるデータ処理を念頭に、プログラミングの基本とプログラミングによるデータ処理技術を取得することを目標とする。 プログラミング環境としてはMATLABを使用する。また後半の演習では、モーションキャプチャー、フォースプレート、各種センサー等で各自が取得したデータを題材とした実践的な分析を試みる。 また、画像解析領域での活用が進むAIを中心に、AIの活用領域、最新動向などを学ぶ。											
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法								
	D P で 目指す 資質・ 能力	一般教養・倫理、科学的支援力、専門的な知識・教養	授業期間				定期 試験	その他	割合 %			
		(科学的支援力、専門的な知識・教養)	授業	テスト	レポート	発表						
		■認知的領域	情報のデジタル化手法を理解する。 記述されたプログラムを読み、理解できる。 データの適切な表現方法を知る。	○		○				○		30
		■情意的領域	プログラミングに取り組むことができる。 問題解決を目指しあらゆる方法に取り組むことができる。	○		○				○		30
■技能的領域	基礎的なプログラミングが可能となる。 スポーツ科学データをコンピュータで取り扱うことができる。 自分の課題にコンピュータを活用できる。	○	○	○	○		40					
成績評価の基準	□授業への取り組み状況（30%） □レポート等の提出状況（70%）を総合的に評価する。											
テキスト、教材 参 考 書	資料などは授業前にWebClassを通じて提供する。											
履修条件・ 関連科目	情報処理A、B を履修していること スポーツ科学関連のデータを取り扱うゼミナールに所属することが望ましいが、それに限定するものではない。			備考(教員メッセージ含む)	特になし。							
オフィス・アワー	和田：随時（メールで予約してください） 迫田：随時（メールで予約してください）											
授業計画												
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)							
1	和田 智仁 迫田 和之	オリエンテーション（プログラミング言語）			プログラミング環境の構築 ・Mathworksアカウントの準備 ・MATLABインストール							
2	〃	情報のデジタル化I(数値の符号化)			[授業前](1時間)数値の符号化手法について調査する [授業後](1時間)授業内容の復習							
3	〃	情報のデジタル化I(標準化と量子化)			[授業前](1時間)授業資料に基づく予習 [授業後](1時間)授業内容の復習							
4	〃	データの取り込みとプロットI			[授業前](1時間)授業資料に基づく予習 [授業後](1時間)授業内容の復習							
5	〃	データの取り込みとプロットII（配列の取り扱い）			[授業前](1時間)授業資料に基づく予習 [授業後](1時間)授業内容の復習							
6	〃	MatlabプログラミングI（基本構文）			[授業前](1時間)MATLAB Graderを使ったプログラミング演習 [授業後](1時間)MATLAB Graderを使ったプログラミング演習							
7	〃	MatlabプログラミングII（関数）			[授業前](1時間)MATLAB Graderを使ったプログラミング演習 [授業後](1時間)MATLAB Graderを使ったプログラミング演習							
8	〃	プログラム設計・フローチャート			[授業前](1時間)MATLAB Graderを使ったプログラミング演習 [授業後](1時間)MATLAB Graderを使ったプログラミング演習							
9	〃	データ構造（配列、テーブル、セル配列）			[授業前](1時間)授業資料に基づく予習 [授業後](1時間)授業内容の復習							
10	〃	テーブル変数への関数の適用			[授業前](1時間)『基礎からはじめるMATLABデータ解析入門』を視聴する [授業後](1時間)授業内容の復習							
11	〃	データの可視化			[授業前](1時間)MATLABを用いた可視化の手法について調査する [授業後](1時間)データの可視化を実践する（レポート）							

12	"	画像解析とAI	[授業前](1時間)授業資料を使った予習 [授業後](1時間)AIを使った画像認識デモプログラムを実施する
13	"	スポーツデータ処理演習I	[授業前](1時間)演習用データの収集 [授業後](1時間)データ処理
14	"	スポーツデータ処理演習II	[授業前](1時間)データ処理 [授業後](1時間)発表準備
15	"	データ処理結果発表会	[授業前](1時間)発表準備 [授業後](1時間)最終レポート作成

授業科目名 (ナンバリングコード)	A I 入門 (113A0-2306)		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (総合科目)		
担当教員名	和田 智仁・迫田 和之					補助担当者名				
単位数	1 単位		履修年次	1		受け入れ人数		—		
授業の概要	AIは、現代社会においてその活用範囲を急速に広げ、自動車の自動運転補助やスマートスピーカなど身近なものとなりつつある。今後社会で活躍していくには、このAIの基礎やその活用方法に関する知識は欠かせない。本授業では、初学者を対象として、AIの変遷や種々の手法などの基礎を学ぶことを目的とする。また、AIの実社会、特にスポーツ・武道分野での活用事例を通して、自らの専門分野でのAIの応用方法を習得することを目標とする。									
授業の到達目標 及び成績評価の方法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D P で 目指す 資質・ 能力	一般教養・倫理 (一般教養 (科学的支援力・専門的な知識・教養))	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	AIの基本的な概念や種類について理解する。	○	○	○				30
		■情意的領域	AI技術に関心を持ち、主体的に情報収集し、利用できる。	○	○	○				40
		■技能的領域	既存のAIを目的に応じて利用できる。 既存のAIを自身の専門分野に対し活用できる 。	○	○	○				40
成績評価の基準	レポート70%と授業の際に課される課題30%によって評価を行う。									
テキスト、教材 参 考 書	資料などはWebClassを通じて提供する。									
履修条件・ 関連科目	情報処理Aを履修していること。			備考(教員メッセージ含む)						
オフィス・アワー	迫田：随時（メールでアポをとってください） 和田：随時（メールでアポをとってください）									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	和田 智仁 迫田 和之	オリエンテーション（AIについて）								
2	〃	人工知能の基礎Ⅰ（AIのこれまでとこれから,ELSI）				[授業前]（1時間）これまでのAIの変遷を調査 [授業後]（1時間）授業内容の復習				
3	〃	人工知能の基礎Ⅱ（種々のAIを知る）				[授業前]（1時間）AIと分類される種々の手法を調査 [授業後]（1時間）授業内容の復習				
4	〃	実社会で活用されるAI その1				[授業前]（1時間）実際の社会で活用されるAIを調査 [授業後]（1時間）授業内容の復習				
5	〃	実社会で活用されるAI その2				[授業前]（1時間）授業資料を使った予習 [授業後]（1時間）授業内容の復習				
6	〃	スポーツ・武道分野等で活用されるAI その1				[授業前]（1時間）スポーツ・武道分野で活用されるAIを調査 [授業後]（1時間）授業内容の復習				
7	〃	スポーツ・武道分野等で活用されるAI その2				[授業前]（1時間）授業資料を使った予習 [授業後]（1時間）授業内容の復習				

授業科目名 (ナンバリングコード)	プレゼンテーション・討論Ⅰ (113A0-2304)		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (総合科目)			
担当教員名	脇谷 聖美					補助担当者名					
単位数	1 単位		履修年次	2 年次		受け入れ人数		50名程度			
授業の概要	本授業は、自分の専門性や魅力など伝えたいことを相手の立場に立って自分の言葉で表現できるプレゼンテーションに関する基礎理論の理解および基本スキルを培うことを目的としている。具体的には、指導や支援の場面で活かせる相手の状況を聴き出すインタビュー・スキル、考えや専門性を伝える場面で活かせる相手を惹き付けながら理解・合意・行動へと導くプレゼンテーション・スキルなど、相互理解と円滑なコミュニケーションの力が身につく。テキストの事前精読を踏まえて、基礎理論と基本スキルは対話型講義と演習で理解し、演習は相互フィードバックをおこない自己課題を認知する。さらに、グループワークやグループディスカッションを通して、受講者間の相互理解と創造的かつ発展的な結論を出す討論の基礎力も身につくことも期待している。授業は集中授業で、2日間実施する。										
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法							
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %		
			授業	テスト	レポート	発表					
		■認知的領域	○		○						
		■情意的領域	○			○					
■技能的領域	○			○							
成績評価の基準	授業の取り組みは、積極的な授業参加の状況、各演習（発表）と課題レポート等は課題に対する真摯な取り組み及び出来具合について、総合的に評価し、単位認定をおこなう。										
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：書籍『パーフェクト・プレゼンテーション』 ＊必携、＊授業実施日までに事前購読（学内売店）、＊事前精読を前提に授業をおこなう （八幡紘芦史著、アクセス・ビジネス・コンサルティング株式会社発行、本体価格@3000円） 参考資料等は、授業時に適宜配布する。 参考図書：書籍『自分の考えをしっかりと伝える技術』（八幡紘芦史著、P H P 研究所発行、本体価格@1200円） 書籍『話ベタでも100%伝わる「3」の法則』（八幡紘芦史著、ダイヤモンド社発行、本体価格@1400円）										
履修条件・ 関連科目	2年次以上であること。			備考(教員メッセージ含む)		選択科目であるが、コミュニケーション力を効果的に方向付けるので履修することが望まれる また、テキスト精読前提で演習中心の授業をおこなうので、必ずテキストを準備し、精読をしておくこと。					
オフィス・アワー	教務課・キャリア支援係へ相談下さい。適宜、担当教員との連絡調整をします（月～金、9:00～17:00）										
授業計画											
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)					
1	脇谷 聖美	オリエンテーション、プレゼンテーション演習、課題の抽出				テキスト第1～5章の事前精読（8時間）					
2	〃	相手の状況を聴く、インタビュー演習、プレゼンテーション演習									
3	〃	伝わる基本構造、プレゼンテーション演習									
4	〃	相手の興味を惹く話の組み立て方、プレゼンテーション演習				課題レポートの取り組み（30分）					
5	〃	稔りある討論の仕方、グループディスカッション演習									
6	〃	グループディスカッション演習、プレゼンテーション演習									
7	〃	プレゼンテーション演習									
8	〃	受講成果プレゼンテーション、相互評価、授業の振り返り				テキスト再精読、日常での実践					

授業科目名 (ナンバリングコード)	プレゼンテーション・討論Ⅱ (113A0-2305)		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (総合科目)			
担当教員名	脇谷 聖美					補助担当者名					
単位数	1 単位		履修年次	3 年次		受け入れ人数		20人程度			
授業の概要	本授業は、自分の専門性や魅力など伝えたいことを相手の立場に立って自分の言葉で表現できるプレゼンテーションおよび討論に関する理論の理解と実践的なスキルを培うことを目的としている。具体的には、研究・学会発表で的確に相手に伝わるプレゼンテーションのスキル、就職試験の面接や仕事など双方向なコミュニケーションが求められる中で参画型の活発な討論スキル、相手の興味を惹き付けながら理解を促進し、合意（賛同）を得て行動へ導くプレゼンテーションのスキルを身につける。 テキストの事前精読を踏まえて、授業は演習中心で実施し、実践的スキル獲得へ相互フィードバックで自己課題を認識する。 また、視覚資料の作成と活用を実習する。授業は集中授業で、2日間実施する。										
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法							
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %		
			授業	テスト	レポート	発表					
			■認知 的領域	・自分の考えを的確に相手に伝えるプレゼンテーションのシナリオを理論に基づいて作成できる。 ・プレゼンテーションや討論について分析・評価できる。	○		○				30
			■情意 的領域	プレゼンテーションや討論について興味・関心を持ち、それを積極的かつ受講生同士で協力して探求する。	○			○			20
■技能 的領域	・ 双方向のコミュニケーションの中で、自分の魅力や考えを効果的にプレゼンテーションできる。 ・ 討論等を行って、その課題を達成できる。	○				○			50		
成績評価の基準	授業の取り組みは、積極的な授業参加の状況、各演習と課題レポート等は課題に対する真摯な取り組み及び出来具合について、総合的に評価し、単位認定をおこなう。										
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：書籍『パーフェクト・プレゼンテーション』 ※必携、※授業実施日までに事前購読（学内売店）、※事前精読を前提に授業をおこなう （八幡紘芦史著、アクセス・ビジネス・コンサルティング株式会社発行、本体価格@3000円） 参考資料等は、授業時に適宜配布する。 参考図書：書籍『自分の考えをしっかりと伝える技術』（八幡紘芦史著、P H P研究所発行、本体価格@1200円） 書籍『話ベタでも100%伝わる「3」の法則』（八幡紘芦史著、ダイヤモンド社発行、本体価格@1400円）										
履修条件・ 関連科目	3年次以上であること。 「プレゼンテーション・討論Ⅰ」を履修していることが望ましい。			備考(教員メッセージ含む)		選択科目であるが、卒論研究発表や就職活動の面接等を効果的に方向付けるので履修することが望まれる また、テキスト精読前提で演習中心の授業をおこなうので、必ずテキストを準備し、精読をしておくこと					
オフィス・アワー	教務課・キャリア支援係へ相談下さい。適宜、担当教員との連絡調整をします（月～金、9:00～17:00）										
授業計画											
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)					
1	脇谷 聖美	オリエンテーション、理解度テスト、プレゼンテーション演習、課題の抽出				テキスト第1～9章の事前精読（15時間）					
2	〃	伝わる構造と話しの組み立て方、プレゼンテーション演習									
3	〃	グループディスカッション演習、参画型の活発な討論の仕方									
4	〃	グループディスカッション演習、参画型の活発な討論の仕方				課題レポートの取り組み（30分）					
5	〃	効果的な伝え方と視覚資料（スライド）活用、プレゼンテーション演習									
6	〃	プレゼンテーション演習、シナリオ作成と添削									
7	〃	プレゼンテーション演習、視覚資料（スライド）の作成と添削、リハーサル									
8	〃	受講成果プレゼンテーション、相互評価、授業の振り返り				テキスト再精読、日常での実践					